

# 洪水ハザードマップ

## 説明・使い方

～竹田川版～



あわら市 建設課

# 目次



近年の災害について ··· P3

マップの構成について ··· P6

洪水シミュレーションについて ··· P8

マップの使い方について ··· P15

表紙 ··· P17

①家庭での学習 ··· P20

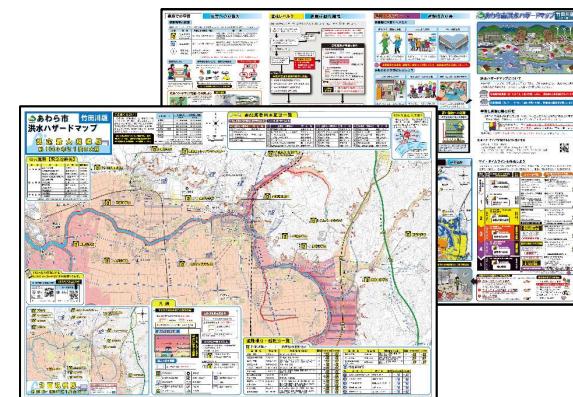
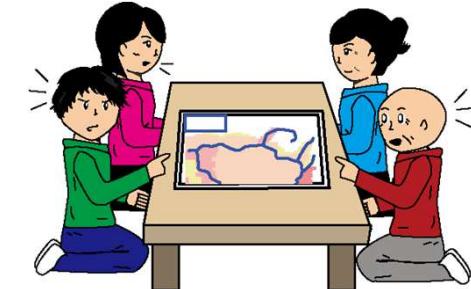
②警戒レベル1 ··· P28

③警戒レベル2 ··· P32

④警戒レベル3~4 ··· P38

⑤警戒レベル5 ··· P40

⑥マイ・タイムライン ··· P46



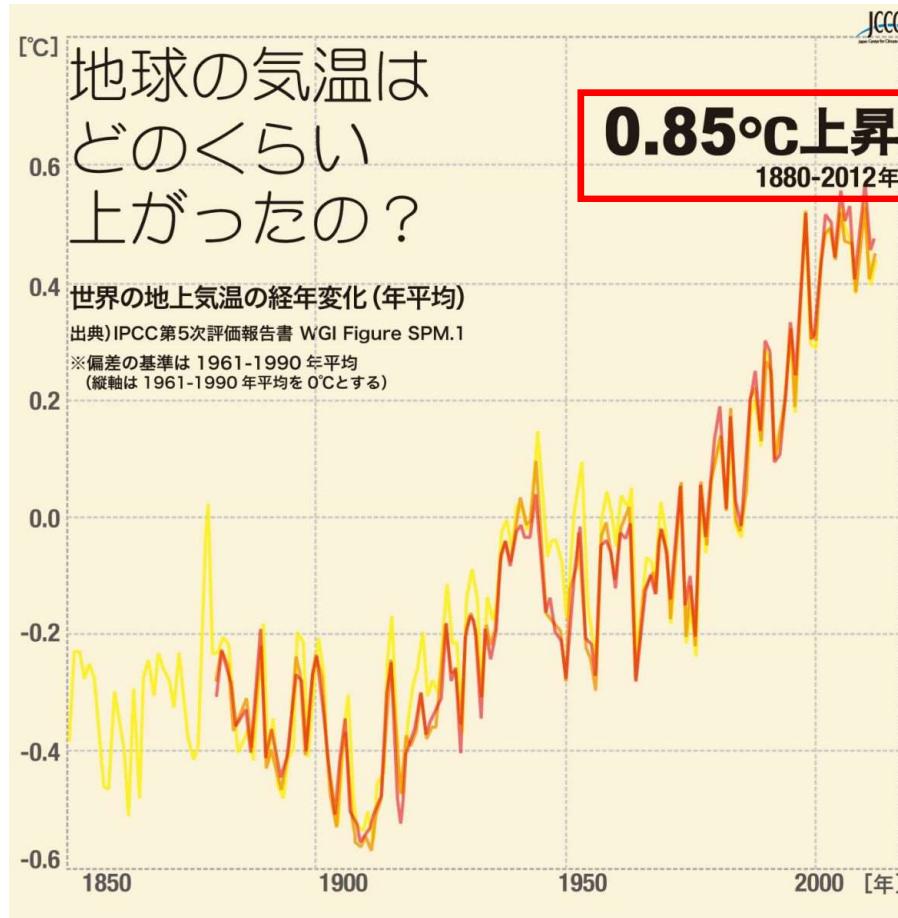


# 近年の災害について

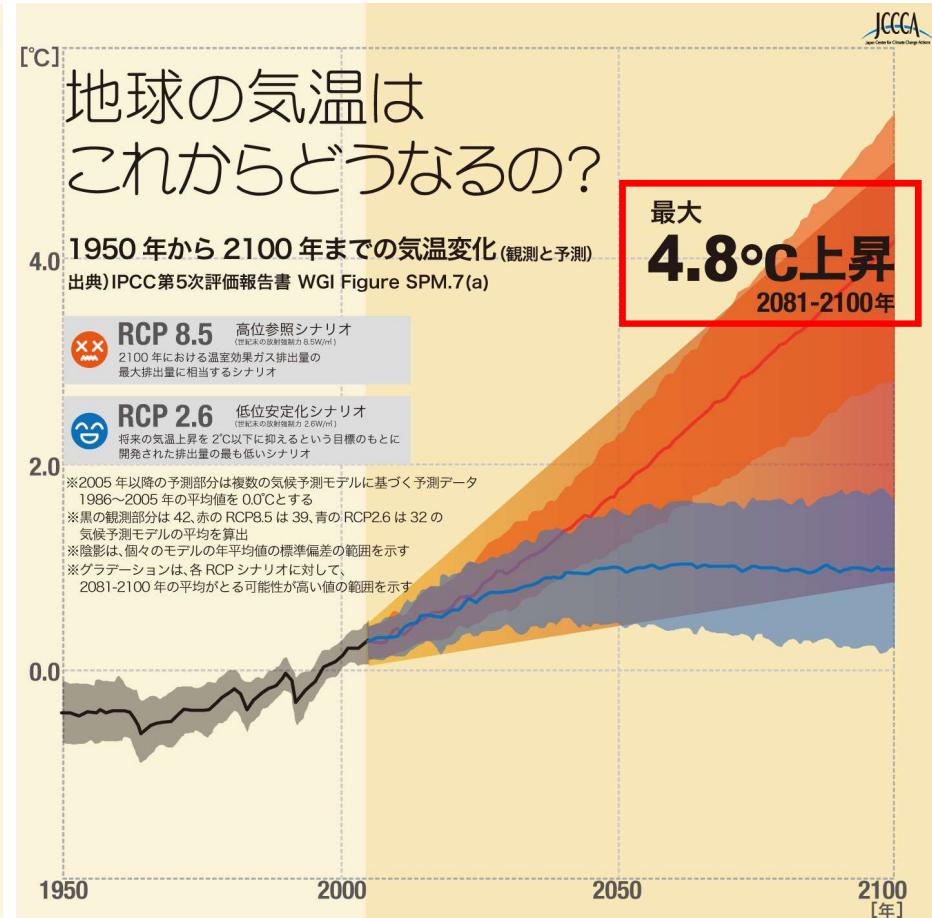
# 地球温暖化の状況



## 温室効果ガス排出量の増加により地球温暖化が進行



これまで



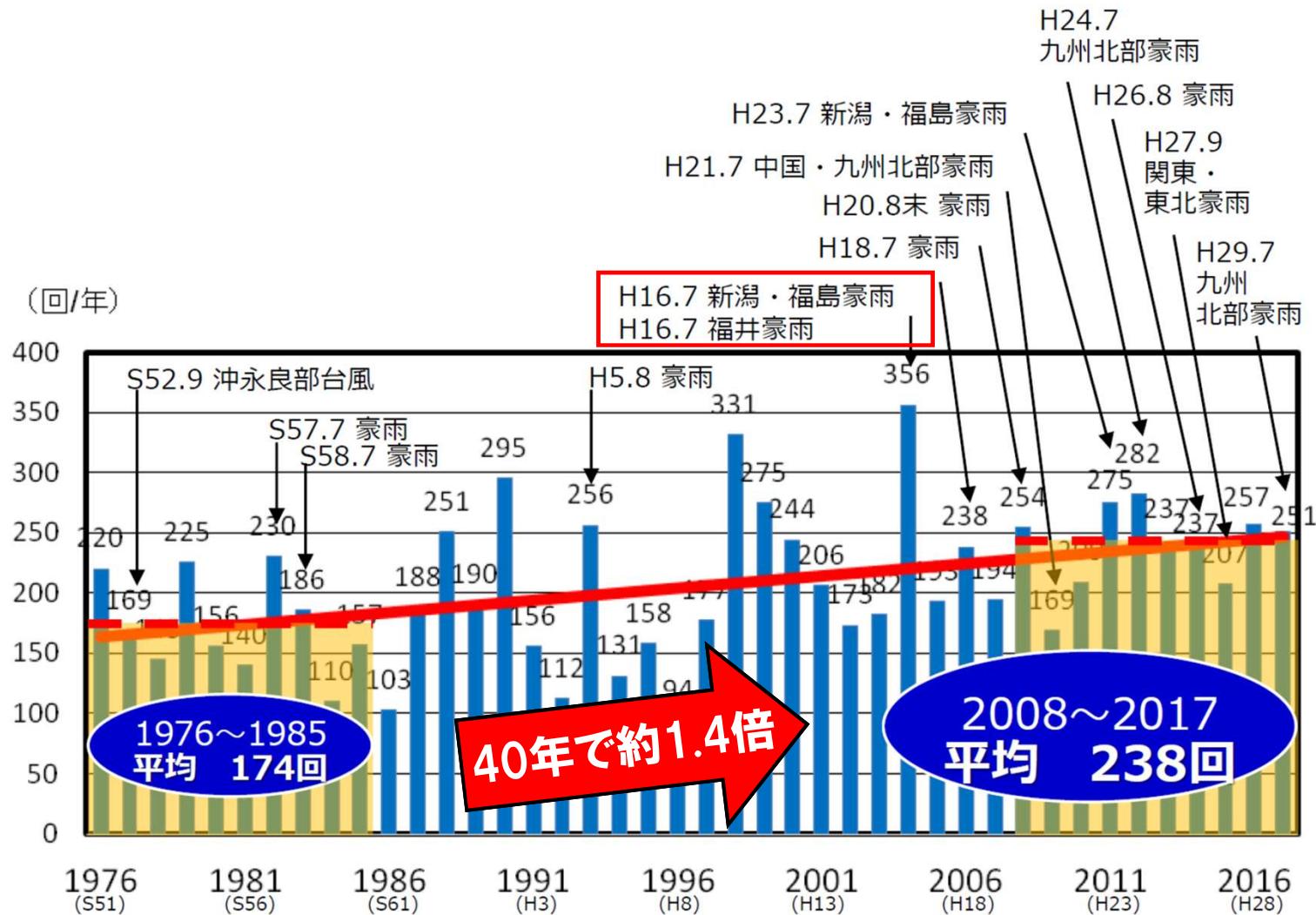
これから

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

# 自然災害の状況



## 地球温暖化等の要因により豪雨災害が多発



近年では多くの死者・行方不明者を伴う豪雨災害も発生

平成30年7月  
豪雨（西日本豪雨）  
死者・行方不明者  
**245名**

令和2年7月  
豪雨（九州地方）  
死者・行方不明者  
**81名**

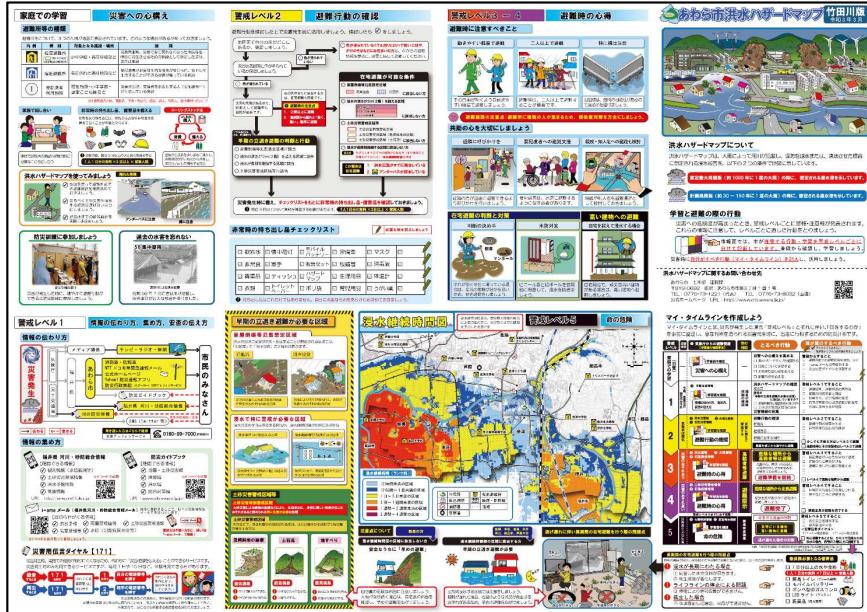


# マップの構成について

# マップの構成について



## 表 学習面

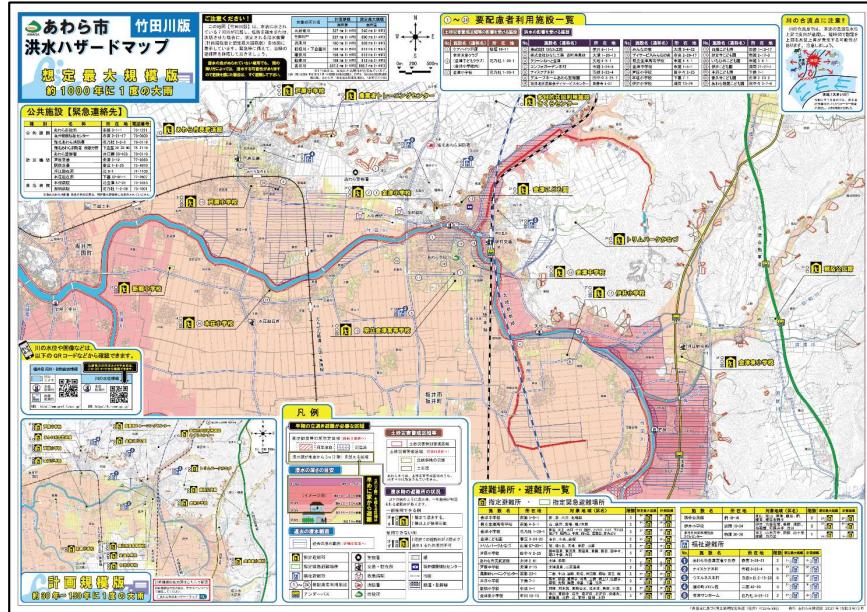


目的

災害発生前

日頃から時間をかけて学習

## 裏 地図面



目的

災害発生時

短時間で確認して避難



# 洪水シミュレーションについて

# 洪水シミュレーション作成の目的



平成27年の「水防法の改正」により、平成29年～令和2年の間に洪水シミュレーションを新しく作成

平成27年から平成28年

全国で水害が発生

「逃げ遅れ」による被害が相次ぐ

国土交通省の対策

「逃げ遅れ」の被害を  
二度と繰り返さない

水防法改正

国、県、市で洪水シミュレーションを作成

計画規模降雨

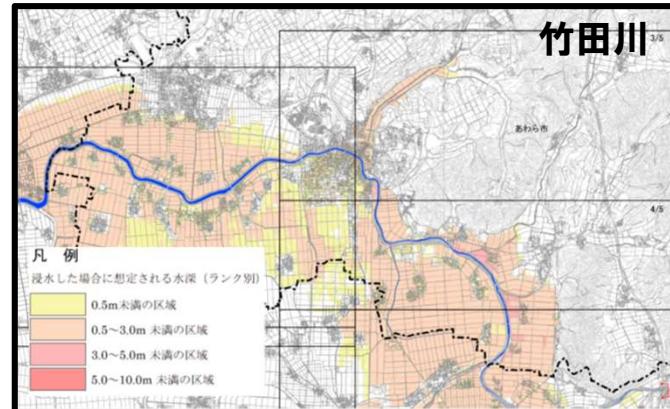
想定最大規模降雨



## 計画規模降雨

「約50年に1度」

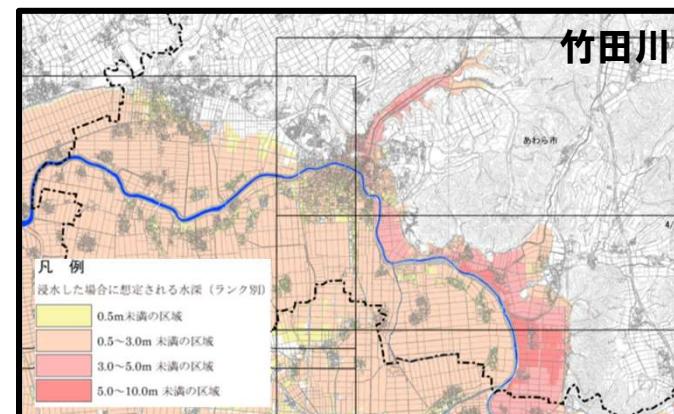
大雨が降った時に起こる水害



## 想定最大規模降雨

「約1000年に1度」

大雨が降った時に起こる水害

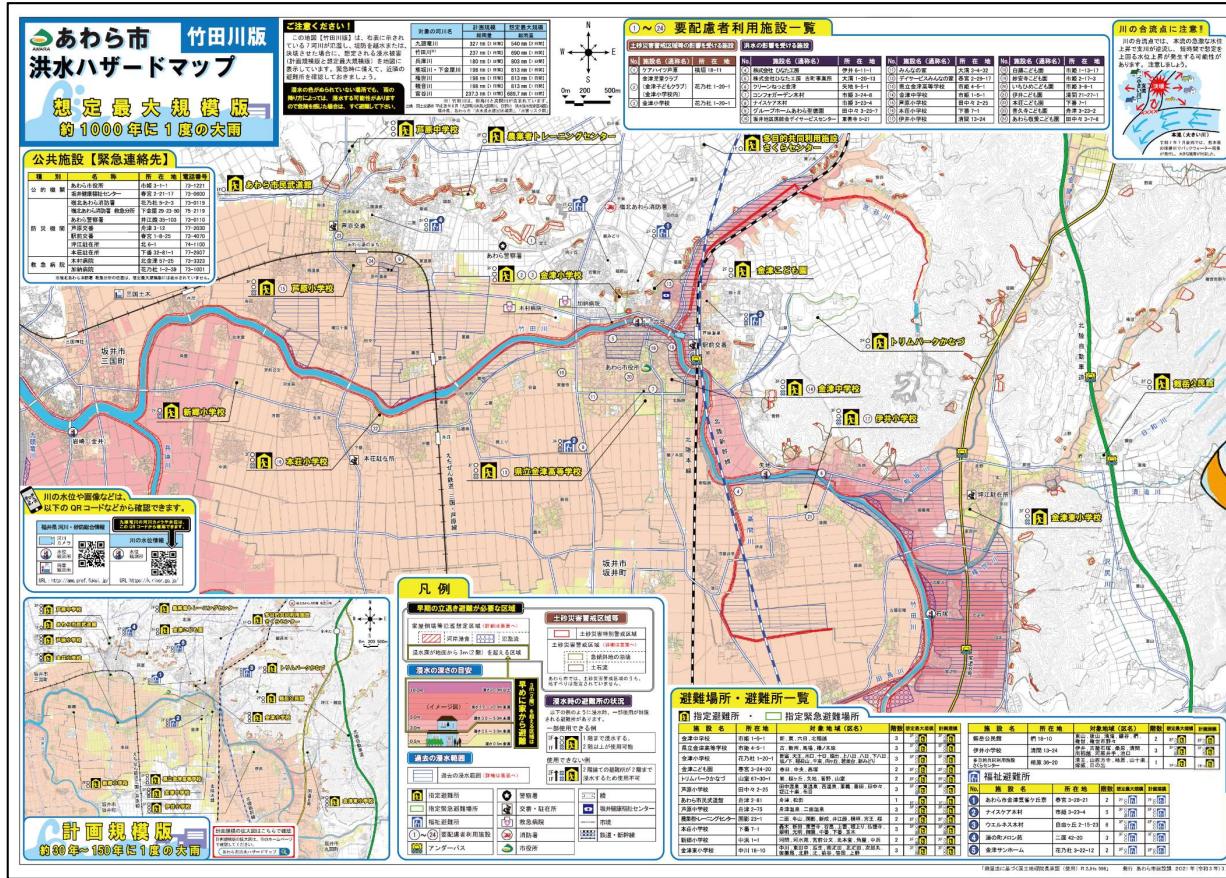


# 洪水ハザードマップ改定の目的



水防法改正  
国、県、市で洪水シミュレーションを作成  
計画規模降雨  
想定最大規模降雨

洪水ハザードマップの改定  
想定最大規模降雨の洪水ハザードマップを作成  
洪水被害が発生した時を想定  
事前に早めの避難と予防

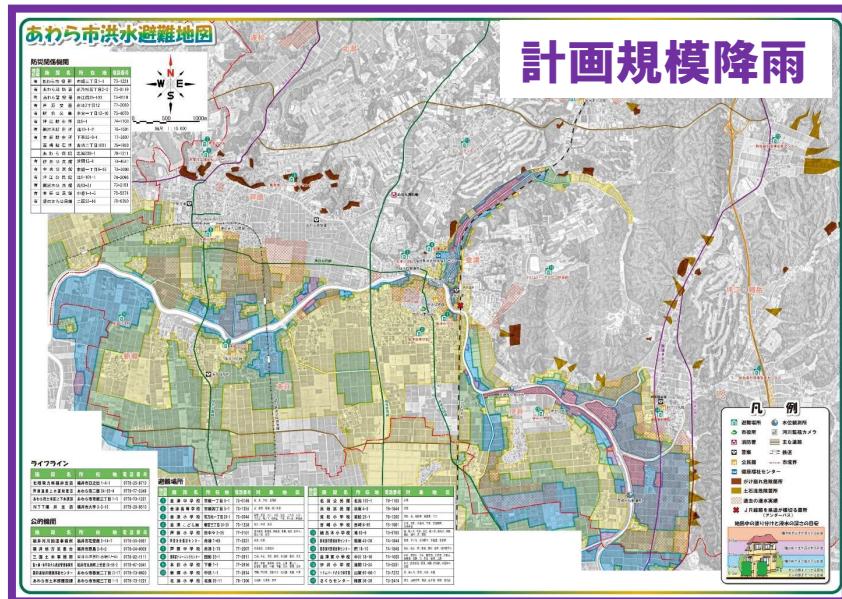


防災意識の向上

# 前回の洪水避難地図との違い



掲載図面の変更→「拡大図：想定最大規模降雨」「縮小図：計画規模降雨」



前回のマップ



今回のマップ

浸水深の配色としきい値を変更（国土交通省が指定）



前回の浸水深



今回の浸水深

- ・色弱者に対応した色
- ・一般的な建物の高さに  
対応した浸水時の深さ

# 想定最大規模降雨とは？



**過去に観測された最大の降雨量**

最大の降雨量は、降雨の特性が類似  
している15の地域に分けて設定



出典：浸水想定(洪水、内水)の作成等のための  
想定最大外力の設定手法 平成27年7月

福井県の河川は、北陸地域で観測された最大の降雨量を使用

## 計画規模降雨とは

河川形態ごとに想定される被害規模に応じて設定  
された、河川整備を行う時に使用する降雨量

河川形態…河川の形状や河川周辺の地形特性のこと

# 洪水シミュレーションの解析



## 計画規模降雨

1日で約〇〇mm降る

竹田川本川が整備された  
計画規模の降雨量を算出



過去の水害時の実績降雨を基に  
時間毎の降雨量を算出



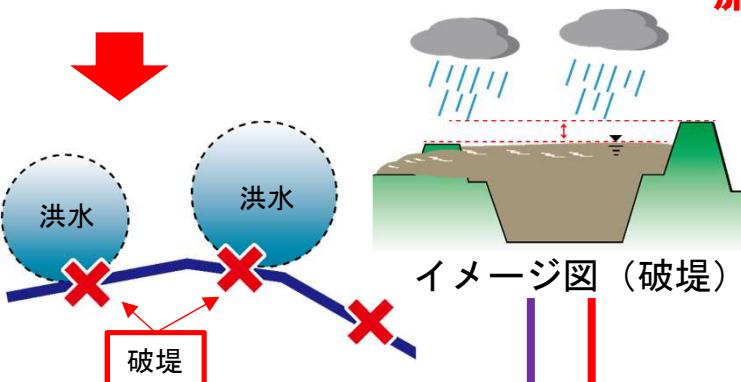
時間毎の流出量を算出

流出量＝河川に集まつてくる水の量

破堤箇所を設定



地形から水の  
広がり方を解析



## 想定最大規模降雨

北陸地域で観測した最大の降雨量



この面積だと1日で約〇〇mm降る

各河川の最大の降雨量を算出

「想定される最大降雨量を河川の流域面積から算出」<sup>※1</sup>

※1国土交通省が算出した結果

過去の水害時の実績降雨を基に  
時間毎の降雨量を算出



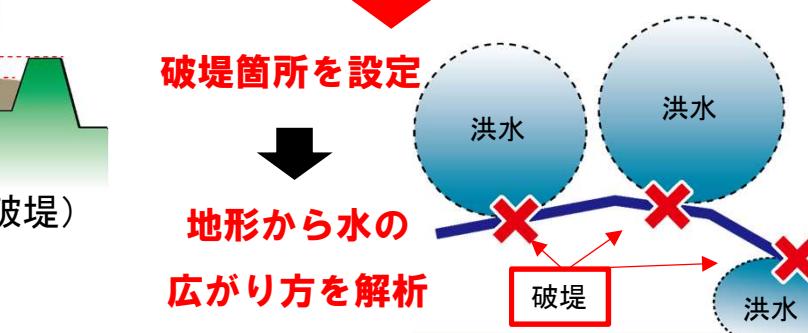
時間毎の流出量を算出

流出量＝河川に集まつてくる水の量

破堤箇所を設定



地形から水の  
広がり方を解析





# ハザードマップの作成



国、県、市で作成された浸水のデータを基にハザードマップを作成

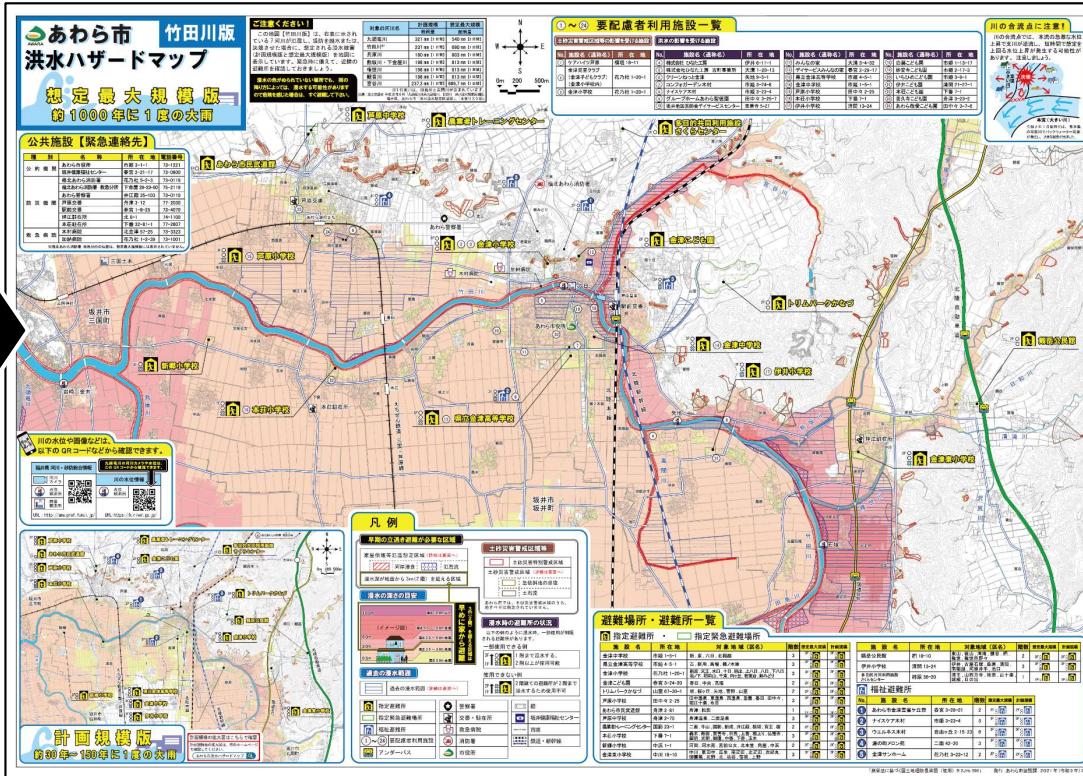
## あわら市（竹田川版）に 洪水が入ってくる河川

対象の河川名	計画規模	想定最大規模
	総雨量	総雨量
九頭竜川	327 mm [2日間]	540 mm [2日間]
竹田川※1	237 mm [1日間]	690 mm [1日間]
兵庫川	180 mm [1日間]	803 mm [1日間]
熊坂川・下金屋川	198 mm [1日間]	813 mm [1日間]
権世川	198 mm [1日間]	813 mm [1日間]
観音川	198 mm [1日間]	813 mm [1日間]
宮谷川	237.3 mm [1日間]	689.7 mm [1日間]

※1 竹田川は、田島川と高間川が含まれています。

## 注意

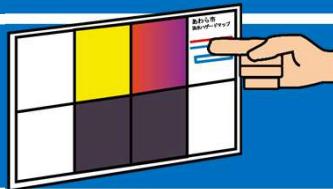
雨の降り方によっては、  
塗られてない場所が  
浸水する可能性がある



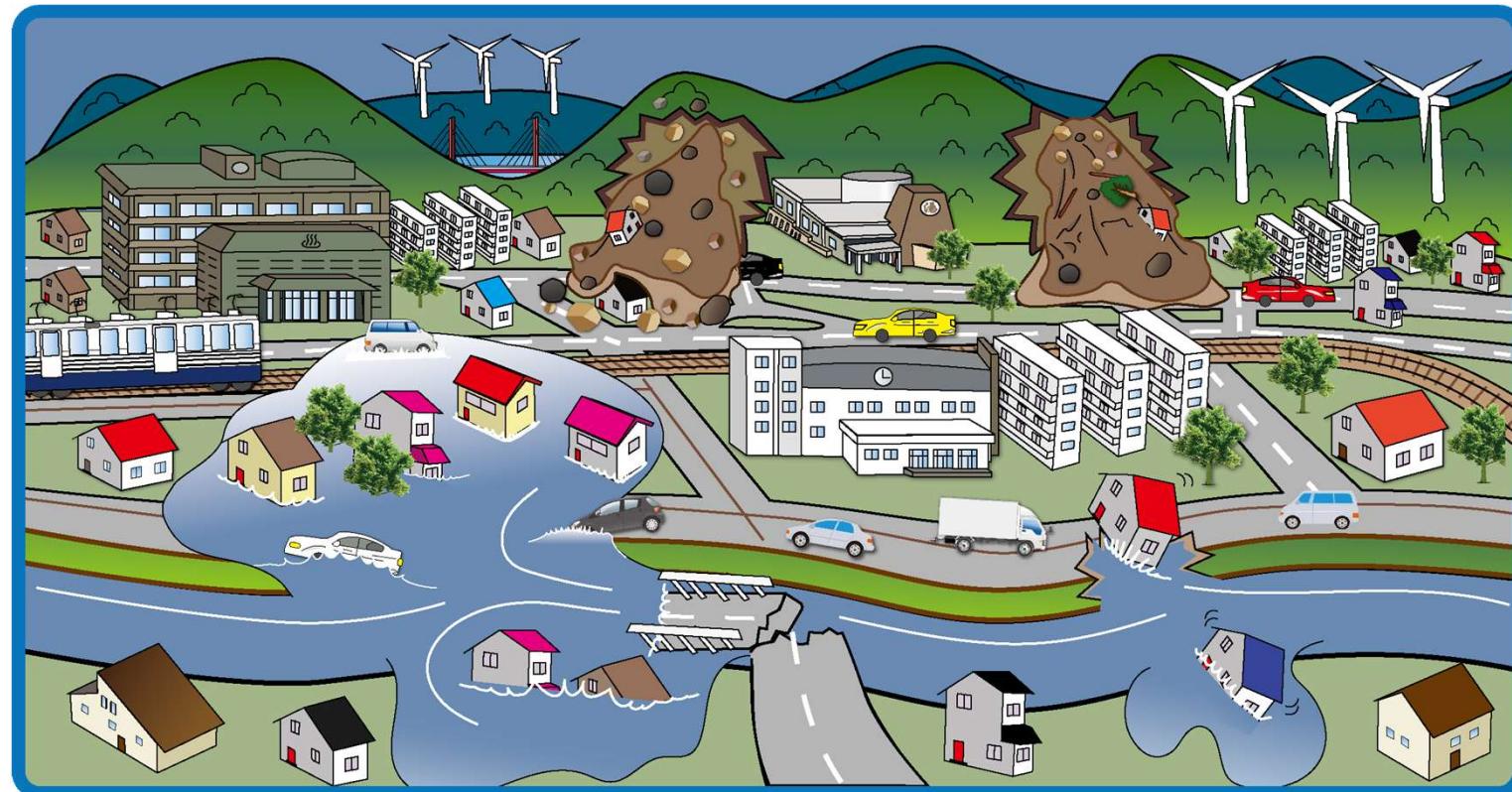
活用するためには、マップの使い方を学習することが必須



# マップの使い方について

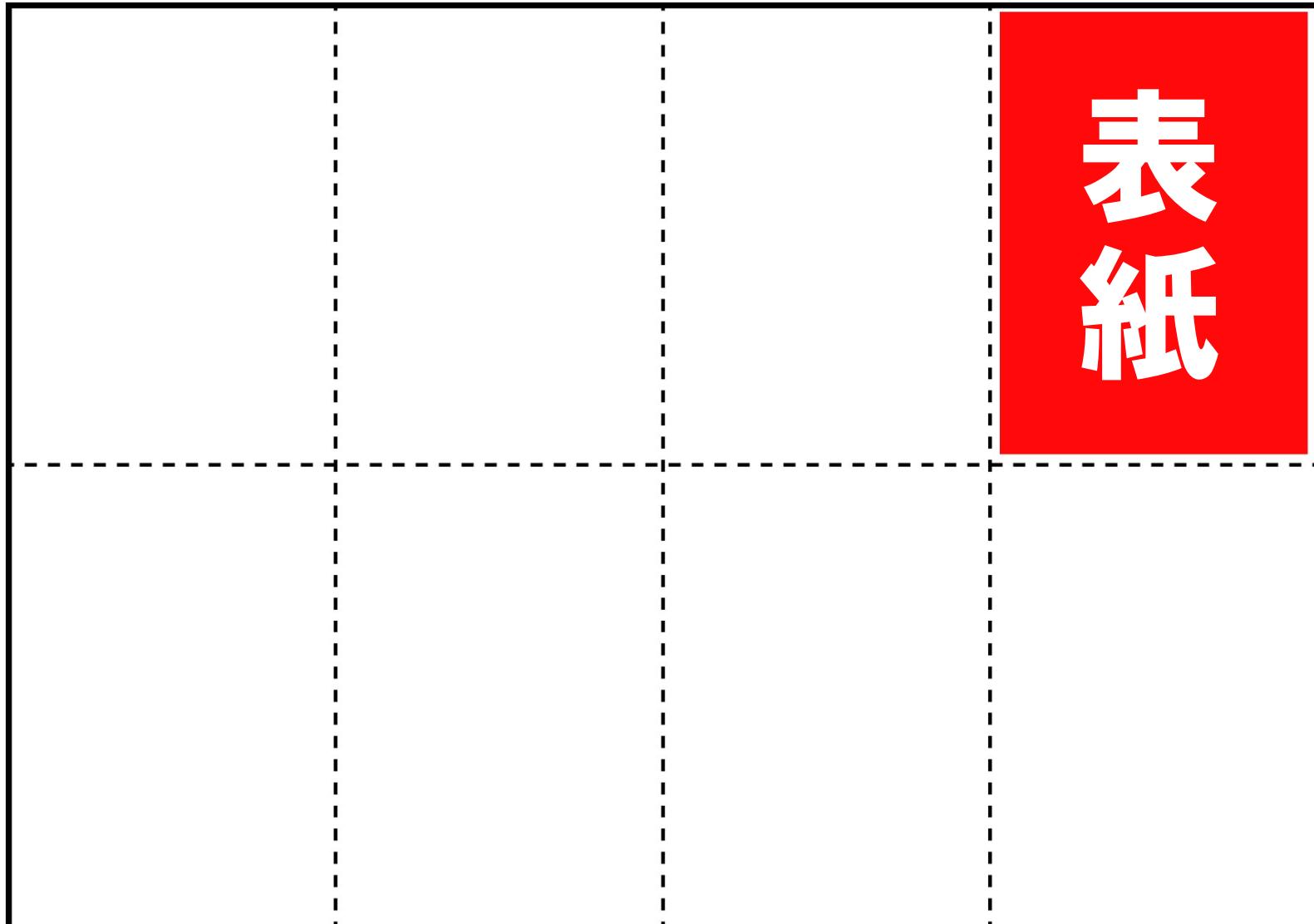


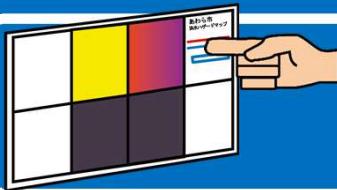
# マップの使い方について



こうなってからでは手遅れ  
⇒災害が発生する前から学習

# 表紙

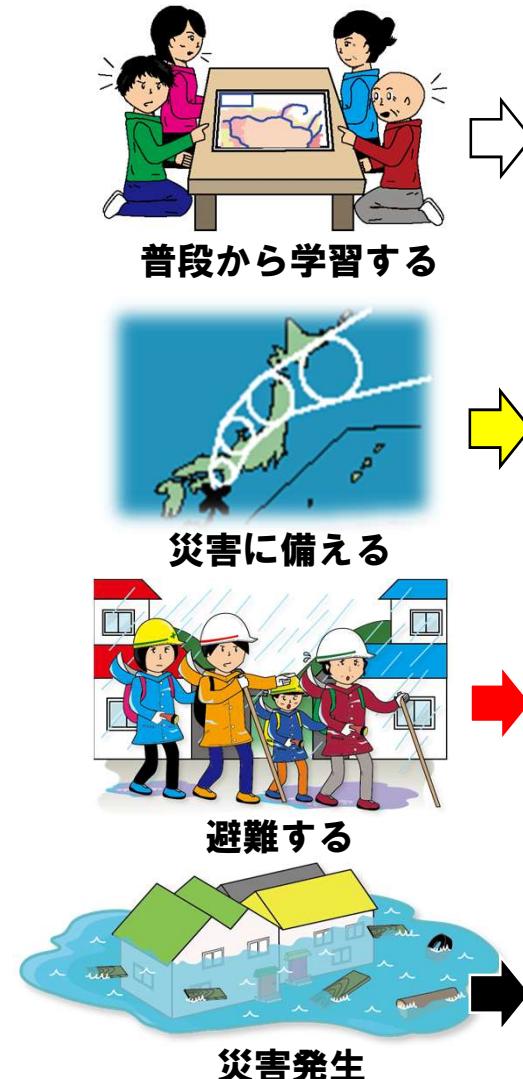




# 警戒レベルについて～表紙～



災害の危険が迫ると気象庁や市から警戒レベルが発表



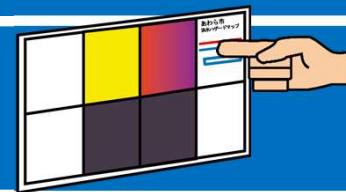
警戒 レベル	災害 状況	① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の 対応
家庭での学習	—	学習面を確認 災害への心構え	—
1 気象状況正常	① 早期注意情報 今後、気象状況 悪化のおそれ	学習面を確認 情報の伝え方、集め方、 安否の伝え方	職員の連絡
2 気象状況悪化	① 洪水注意報 ① 大雨注意報 ① 沼澤注意情報	学習面を確認 避難行動の確認	災害に備えて 警戒する
3 災害のおそれあり	① 洪水警報 ① 大雨警報 ① 沼澤警戒情報	学習面を確認 避難時心得	高齢者等避難 避難指示
4 災害のおそれ高い	① 土砂災害警戒情報 ① 沼澤危険情報	学習面を確認 避難時心得	避難指示
5 災害発生又は切迫	① 大雨特別警報 ① 沼澤発生情報	学習面を確認 命の危険	緊急安全確保

警戒レベル発表時に適した  
行動がとれるように作成



見方





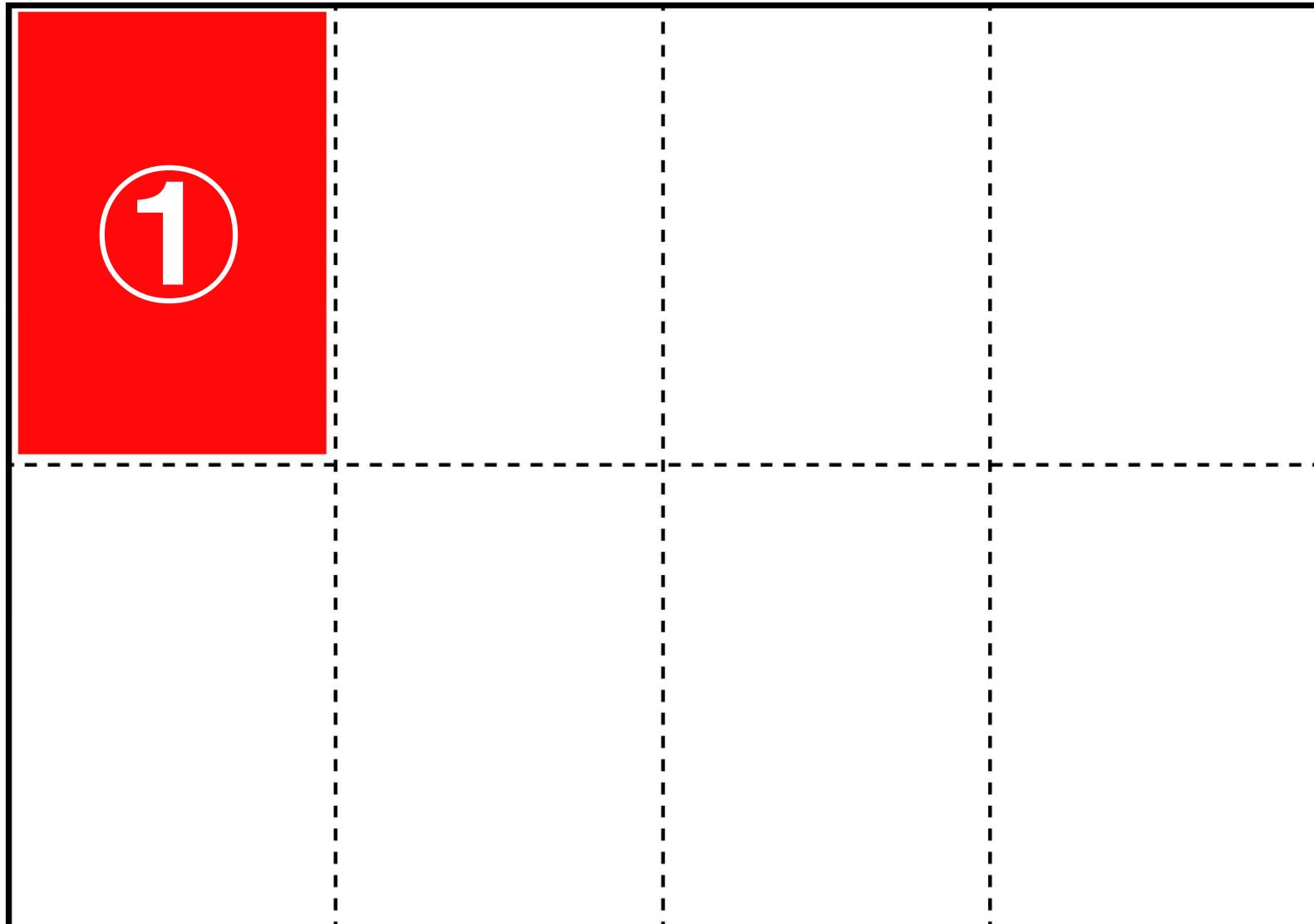
# マップの使い方について

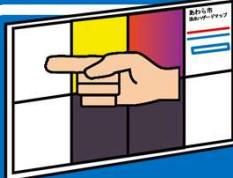


The image is a collage of various informational materials from the city of Awara, Japan, related to disaster preparedness and emergency response. It includes:

- 1 家庭での学習 (Family Learning)**: A brochure titled "災害への心構え" (Mindset for Disasters) and "避難所等の種類" (Types of Shelters).
- 2 警戒レベル1 (Alert Level 1)**: A yellow box with the text "3つの危険が発生する可能性がある場合に備えておきましょう" (Prepare for cases where three types of risks may occur). It includes QR codes for "川井川河川・砂防総合情報メール" and "洪水警報情報".
- 3 警戒レベル2 (Alert Level 2)**: A yellow box with the text "警戒行動を実施した上で災害発生前に活用しましょう" (Use it before a disaster occurs by implementing alert actions). It includes a flowchart for "避難行動の確認" (Confirmation of Evacuation Actions) and a checklist for "在宅避難が可能な条件" (Conditions for Home Evacuation).
- 4 警戒レベル3~4 (Alert Level 3~4)**: A red box with the text "避難時に注意すべきこと" (Things to pay attention to during evacuation).
- 5 警戒レベル5 (Alert Level 5)**: A yellow box with the text "避難行動を実施した上で災害発生前に活用しましょう" (Use it before a disaster occurs by implementing alert actions). It includes a map titled "浸水継続時間図" (Map of Flooding Duration) showing water levels across the city.
- 6 チェックリスト (Checklist)**: A black box with the text "避難行動を実施した上で災害発生前に活用しましょう" (Use it before a disaster occurs by implementing alert actions). It includes a checklist for "避難行動の確認" (Confirmation of Evacuation Actions).
- 7マイタイムライン (My Timeline)**: A yellow box with the text "命の危険" (Risk of Life) and "とるべき行動" (Actions to Take). It includes a timeline diagram.
- 8 洪水ハザードマップ (Flood Hazard Map)**: A map titled "あわら市洪水ハザードマップ" (Awara City Flood Hazard Map) showing flood-prone areas and evacuation routes.

# ① 家庭での学習～日常～





# 家庭での学習～災害への心構え～



**家庭での学習**

**災害への心構え**

**避難所等の種類**

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか知っておきましょう。

凡 例	種 別	対象となる施設・場所	役 割
	指定避難所 (□で囲われた範囲 指定緊急避難場所)	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
	要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設

※1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

**家族で話し合い**

家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う

**非常時の持ち出し品、備蓄品を備える**

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。

① 避難の際、最低 3 日以上の水と食料を備蓄する  
1 人 1 日分の食料 × 3 日以上 × 家族人数

**ローリングストック法**

普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法

**洪水ハザードマップを使ってみましょう**

- 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- なるべく土砂災害や浸水する経路は選ばないようしましょう。
- 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

② 防水性に注意  
アンダーパスに注意  
橋に注意

**防災訓練に参加しましょう**

災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよ防災訓練に参加しましょう。

**過去の水害を忘れない**

56集中豪雨

宮谷川による洪水被害  
昭和 56 年 7 月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

## 避難所等の種類について

凡 例	種 別	役 割
	指定避難所 (□で囲われた範囲 指定緊急避難場所)	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設

## 地図（避難場所・避難所一覧）を確認

① 先ずは、体の不自由な方も  
指定避難所に避難

② 次に  
市職員から福祉避難所への  
避難指示を受けた方は、  
福祉避難所に避難



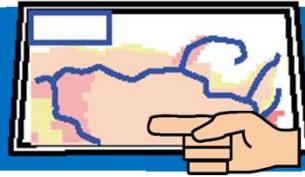
## 対象地域の避難所は…県立金津高等学校の場合

施設名	所在地	対象地域(区名)	階数
金津中学校	市姫 1-5-1	新、東、六日、北稻越	3
県立金津高等学校	市姫 4-5-1	古、新用、馬場、桙ノ木原	3

最初は、一時避難所(区民館等)に避難

次に、指定避難所への避難ですが…

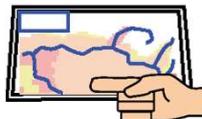
対象地域外の指定避難所も選択が可能



# 家庭での学習～災害への心構え～



浸水時に避難所の使用可能な階数について



地図（凡例）を確認

## 「計画規模降雨」と「想定最大規模降雨」

浸水深が変化



一部の避難所が制限

一部使用できる例



1階まで浸水する。  
2階以上が使用可能

○  
その階が浸水しないので  
避難所として使用できる

使用できない例



2階建ての避難所が2階まで  
浸水するため使用不可

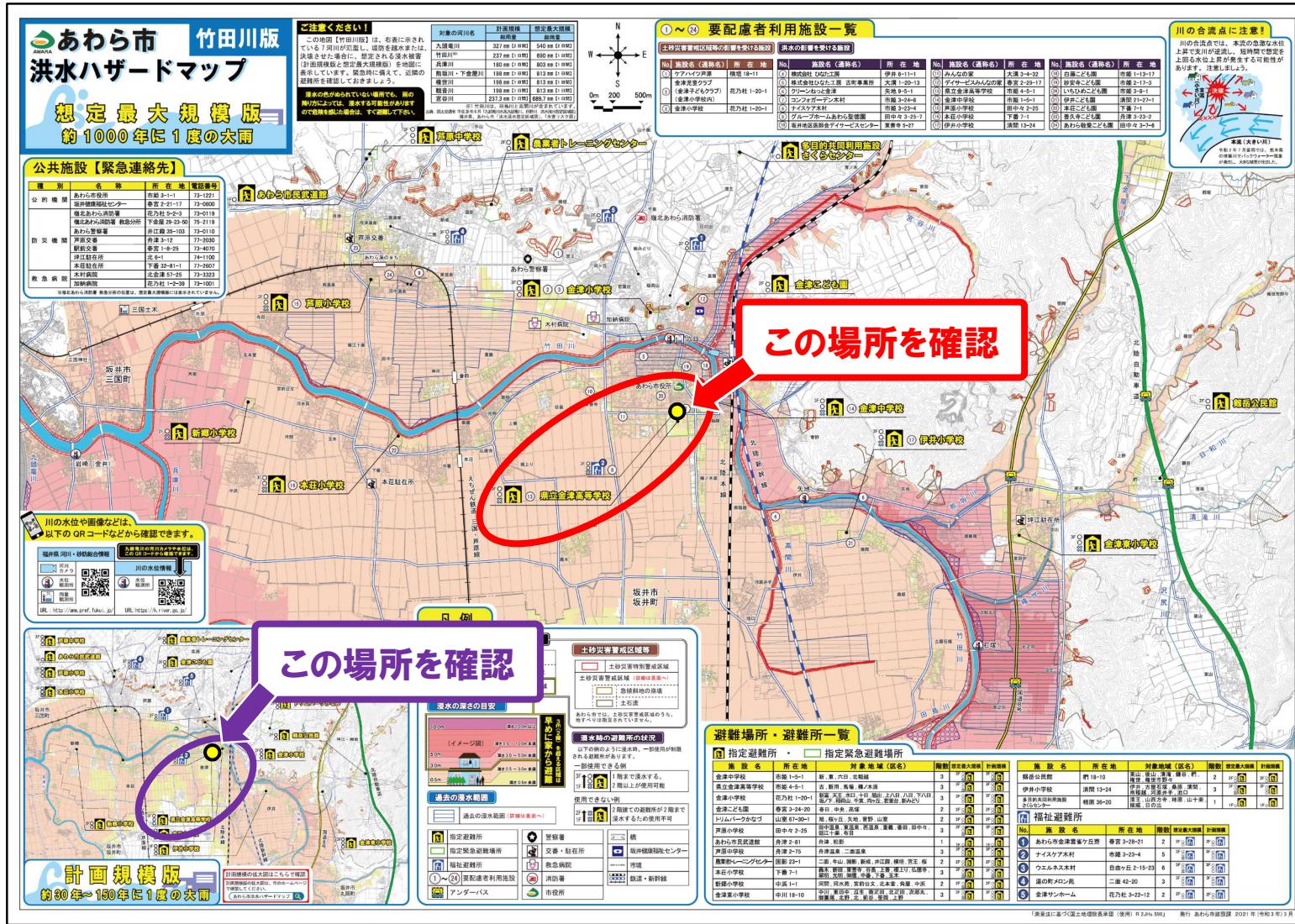


✖  
浸水の状況に応じて避難所として  
使用可能かどうか検討を要する

## 浸水時に避難所の使用可能な階数について



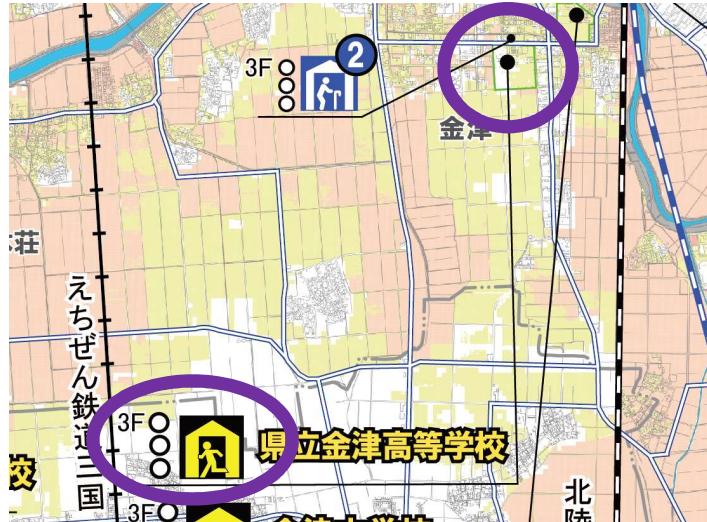
例)  県立金津高等学校（対象地域：古、新用、馬場、榛ノ木原）



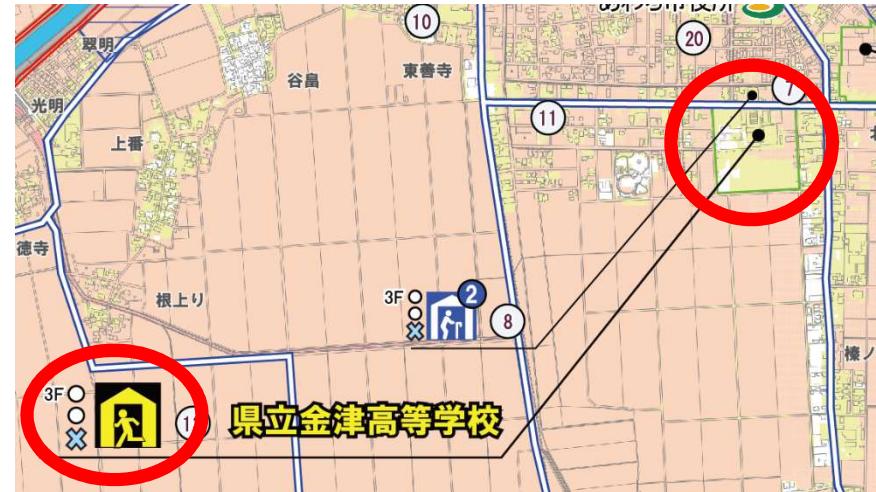
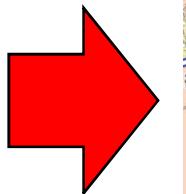
# 浸水時に避難所の使用可能な階数について



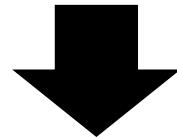
例) 県立金津高等学校（対象地域：古、新用、馬場、榛ノ木原）



計画規模降雨

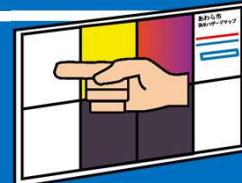


想定最大規模降雨



浸水のない階に避難することが必要

想定最大規模降雨の場合) 1階が浸水するため2階以上に避難



# 家庭での学習～災害への心構え～



家庭での学習		災害への心構え																	
<b>避難所等の種類</b> <p>避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか知っておきましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>凡 例</th> <th>種 別</th> <th>対象となる施設・場所</th> <th>役 割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>指定避難所 <small>(地理的避難場所)</small></td> <td>小中学校・高等学校など</td> <td>災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>福祉避難所</td> <td>指定された福祉施設など</td> <td>要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>要配慮者利用施設</td> <td>福祉施設・小中学校・認定こども園など</td> <td>災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 要配慮者は、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと</p>				凡 例	種 別	対象となる施設・場所	役 割		指定避難所 <small>(地理的避難場所)</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設		福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設		要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設
凡 例	種 別	対象となる施設・場所	役 割																
	指定避難所 <small>(地理的避難場所)</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設																
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設																
	要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設																
<b>家族で話し合い</b> <p>家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う</p>																			
<b>非常時の持ち出し品、備蓄品を備える</b> <p>災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。</p> <p>❶ 避難の際、最低 3 日以上の水と食料を備蓄する 1人 1 日分の食料 × 3 日以上 × 家族人数</p> <p>普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法</p>																			
<b>洪水ハザードマップを使ってみましょう</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。</li> <li>なるべく土砂災害や浸水する経路は選ばないようしましょう。</li> <li>避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。</li> </ul> <p><b>壊れた危険</b></p> <p>アンダーパスに注意 橋に注意</p>																			
<b>防災訓練に参加しましょう</b> <p>防災訓練の様子</p> <p>災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよ防災訓練に参加しましょう。</p>		<b>過去の水害を忘れない</b> <p>56集中豪雨</p> <p>宮谷川による洪水被害</p> <p>昭和 56 年 7 月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。</p>																	

## 要配慮者利用施設について

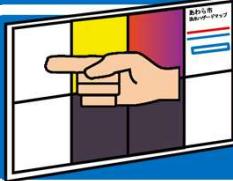
凡 例	種 别	役 割
1	要配慮者利用施設	災害発生時、支援者を必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設

## 「要配慮者」とは？

高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外人、  
身体障がい者など、特に配慮を要する者



出典：内閣府 災害対策基本法 平成25年6月



# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか知っておきましょう。

凡 例	種 別	対象となる施設・場所	役 割
	指定避難所 <small>(赤い枠で囲まれた範囲) 指定緊急避難場所</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
	要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設

※1 要配慮者は、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

**家族で話し合い**

非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

ローリングストック法

※1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと

**洪水ハザードマップを使ってみましょう**

- 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。
- なるべく土砂災害や浸水する経路は選ばないようしましょう。
- 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。

**防災訓練に参加しましょう**

過去の水害を忘れない

56集中豪雨

宮谷川による洪水被害

昭和56年7月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

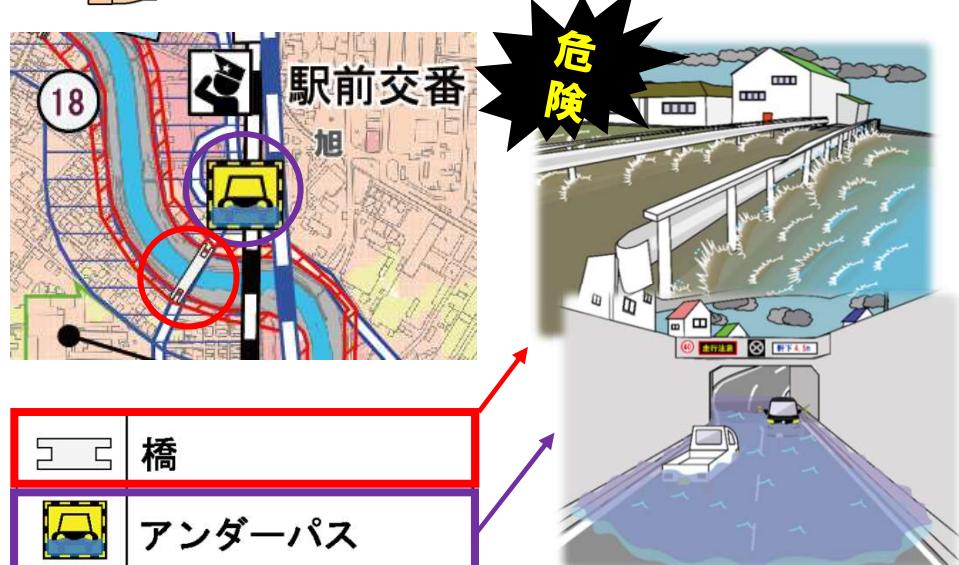
防災訓練の様子

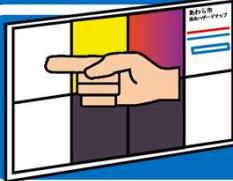
災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよ防災訓練に参加しましょう。

## マップの活用を行う

- **避難経路を複数決めておく**
- **災害の危険がある道は避ける**
- **実際に避難経路を歩く**

### 地図（凡例）を確認





# 家庭での学習～災害への心構え～



## 家庭での学習

## 災害への心構え

### 避難所等の種類

避難所等について、3つの凡例が地図に表記されています。どのような機能があるか知っておきましょう。

凡 例	種 別	対象となる施設・場所	役 割
	指定避難所 <small>(赤で囲まれた範囲) 指定緊急避難場所</small>	小中学校・高等学校など	災害発生時、災害で家に戻れなくなった市民等を一時的に滞在させるための施設として指定した場所、または施設
	福祉避難所	指定された福祉施設など	要配慮者が必要な生活支援等が受けられ、安心して生活することができる設備が整っている施設
	要配慮者利用施設	福祉施設・小中学校・認定こども園など	災害発生時、支援者が必要とする人（要配慮者※1）が生活している施設

※1 要配慮者とは、高齢者、子供・乳幼児、妊婦、病人、外国人、身体障がい者のこと



### 非常時の持ち出し品、備蓄品を備える

災害を乗り越えるには、普段から衣類や非常食等を備えておくことが重要となります。



### ローリングストック法



家族で避難所の確認や避難の際に必要なことを話し合う

① 避難の際、最低 3 日以上の水と食料を備蓄する  
1 人 1 日分の食料 × 3 日以上 × 家族人数

普段から食料を少し多めに購入し、消費期限が近いものから消費し、また買い足して備蓄する方法

### 洪水ハザードマップを使ってみましょう



☑ 地図を使って避難所までの避難経路を複数決めておきましょう。

☑ なるべく土砂災害や浸水する経路は選ばないようしましょう。

☑ 避難所までの避難経路を実際に歩きましょう。



### 防災訓練に参加しましょう



災害が発生した時に、速やかに避難行動ができるよう防災訓練に参加しましょう。

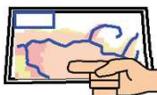
### 過去の水害を忘れない



宮谷川による洪水被害  
昭和 56 年 7 月に宮谷川が氾濫し、旧金津町が甚大な被害を受けました。

## 過去の水害について

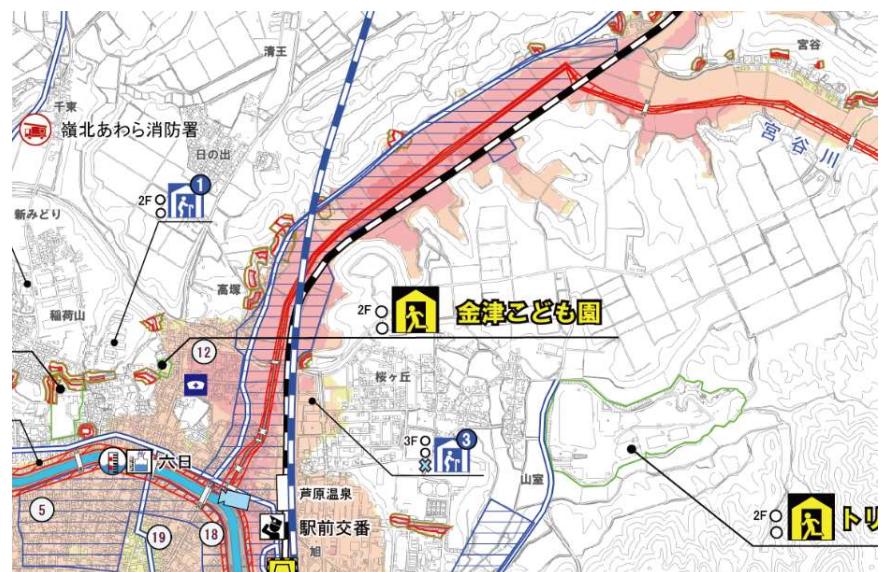
### 昭和56年に旧金津町で洪水が発生



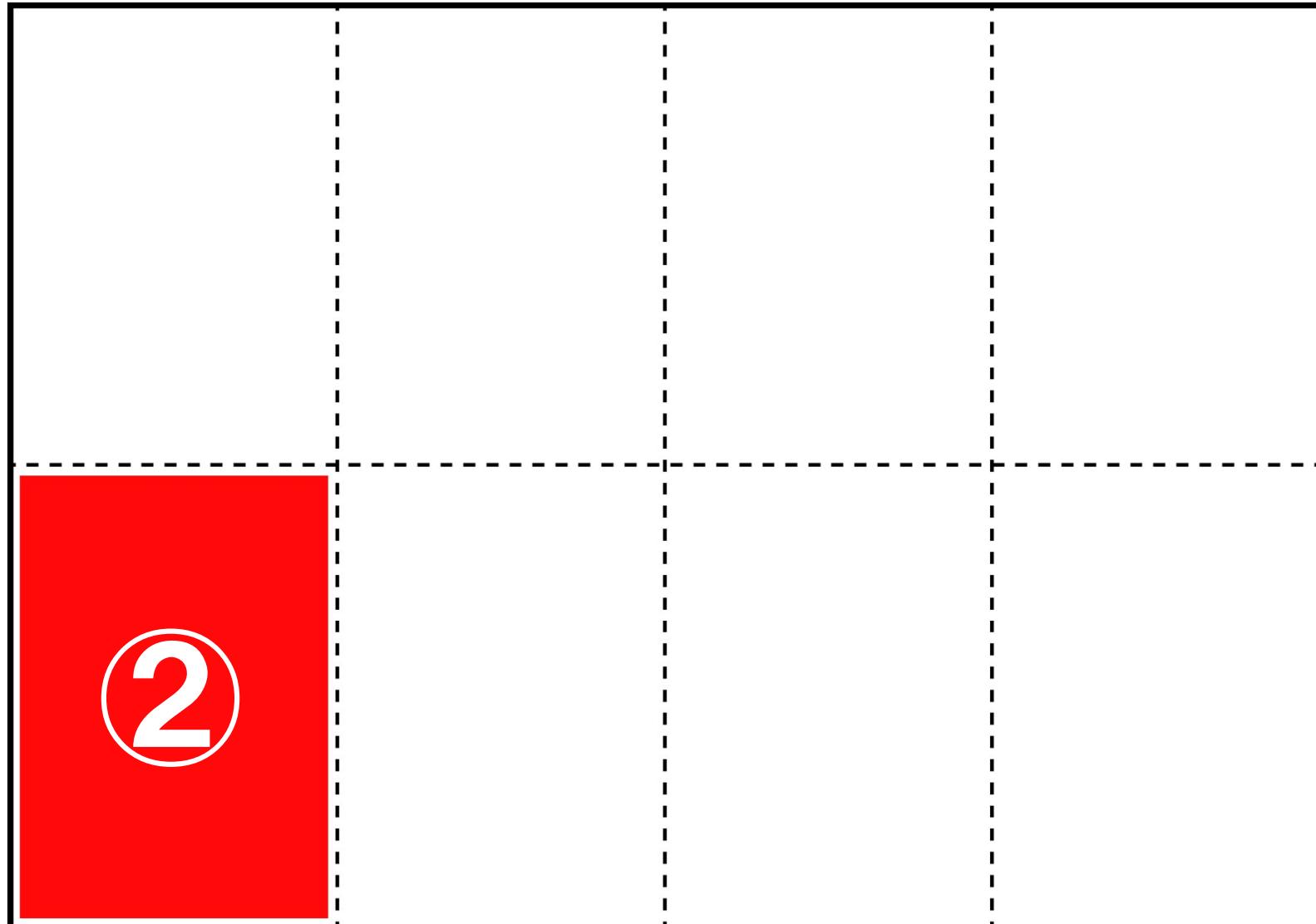
### 地図(凡例)を確認

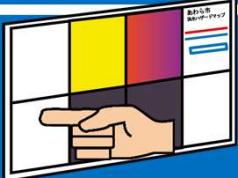


### 過去の浸水範囲



## ② 警戒レベル1





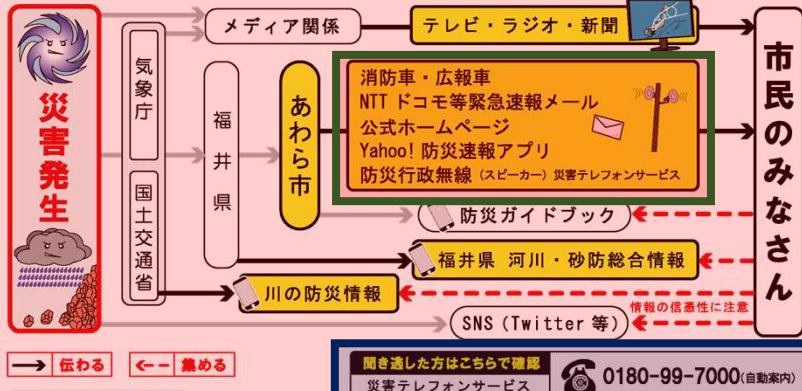
# 警戒レベル1～情報の伝わり方～



## 警戒レベル1

### 情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方

#### 情報の伝わり方



#### 情報の集め方



#### 災害用伝言ダイヤル【171】

災害発生時、電話での連絡が取りにくくなるため、代わりに「安否確認を伝える」ことができるサービスです。災害発生時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



※録音時間は30秒以内に限られています。伝えたい内容を整理してから録音して下さい。  
※家族内で、日ごろから録音する電話番号を決めておきましょう。

## あわら市から伝わる情報

### 消防車・広報車

NTT ドコモ等緊急速報メール

公式ホームページ

Yahoo! 防災速報アプリ

防災行政無線（スピーカー）災害テレフォンサービス

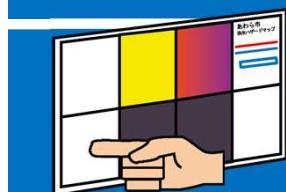


**聞き逃した時は  
再度 聞き直すことができます**

### 災害発生 テレフォンサービス



0180-99-7000(自動案内)



# 警戒レベル1～情報の集め方～



## 警戒レベル1

情報の伝わり方、集め方、安否の伝え方

### 情報の伝わり方



### 情報の集め方

**福井県 河川・砂防総合情報**  
【確認できる情報】  
 観測情報（水位観測等）  
 土砂災害警戒情報  
 洪水予報情報  
 気象情報  
[URL : http://ame.pref.fukui.jp/](http://ame.pref.fukui.jp/)

i-ame メール（福井県河川・砂防総合情報メール）携帯に登録することで、以下の危険情報をメールでお知らせします。

【お知らせがくる情報】  
 洪水予報  雨量警戒値等  土砂災害警戒情報  
 気象警報等  水位（氾濫危険水位等）

QRコードを読み取って登録しましょう。

**防災ガイドブック**  
【確認できる情報】  
 地震・土砂災害編  
 津波編  
 洪水編  
 総合対策編  
[URL : www.city.awara.lg.jp/](http://www.city.awara.lg.jp/)

登録方法や使い方など、詳しくは「i-ame メール」で検索！

### 災害用伝言ダイヤル【171】

災害発生時、電話での連絡が取りにくくなるため、代わりに「安否確認を伝える」ことができるサービスです。災害発生時のみ利用できるサービスですが、毎月1日や15日など、体験利用できる日があります。



## 福井県 河川・砂防総合情報



地図(凡例)を確認



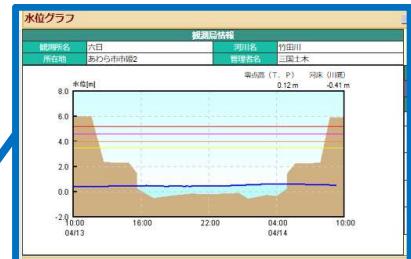
河川カメラ



雨量観測所



水位観測所



水位の上昇を記録

## あわら市 防災ガイドブック

複合災害に注意



**i-ame メール**  
(福井県 河川・砂防総合情報メール)



携帯で登録



危険情報がメールで通知

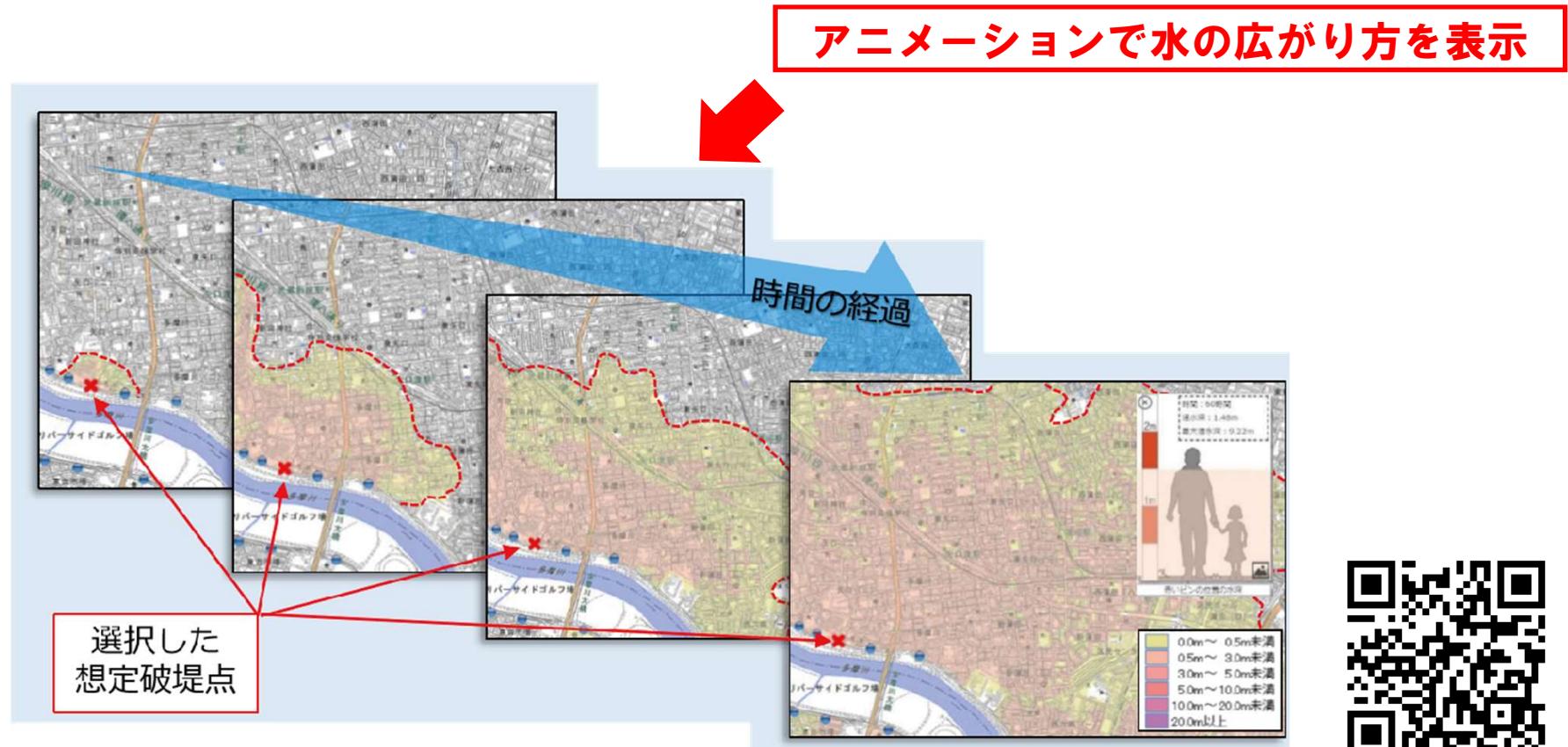


登録方法や使い方など、詳しくは「i-ame メール」で検索！

# マップ以外のこんなことも調べられます

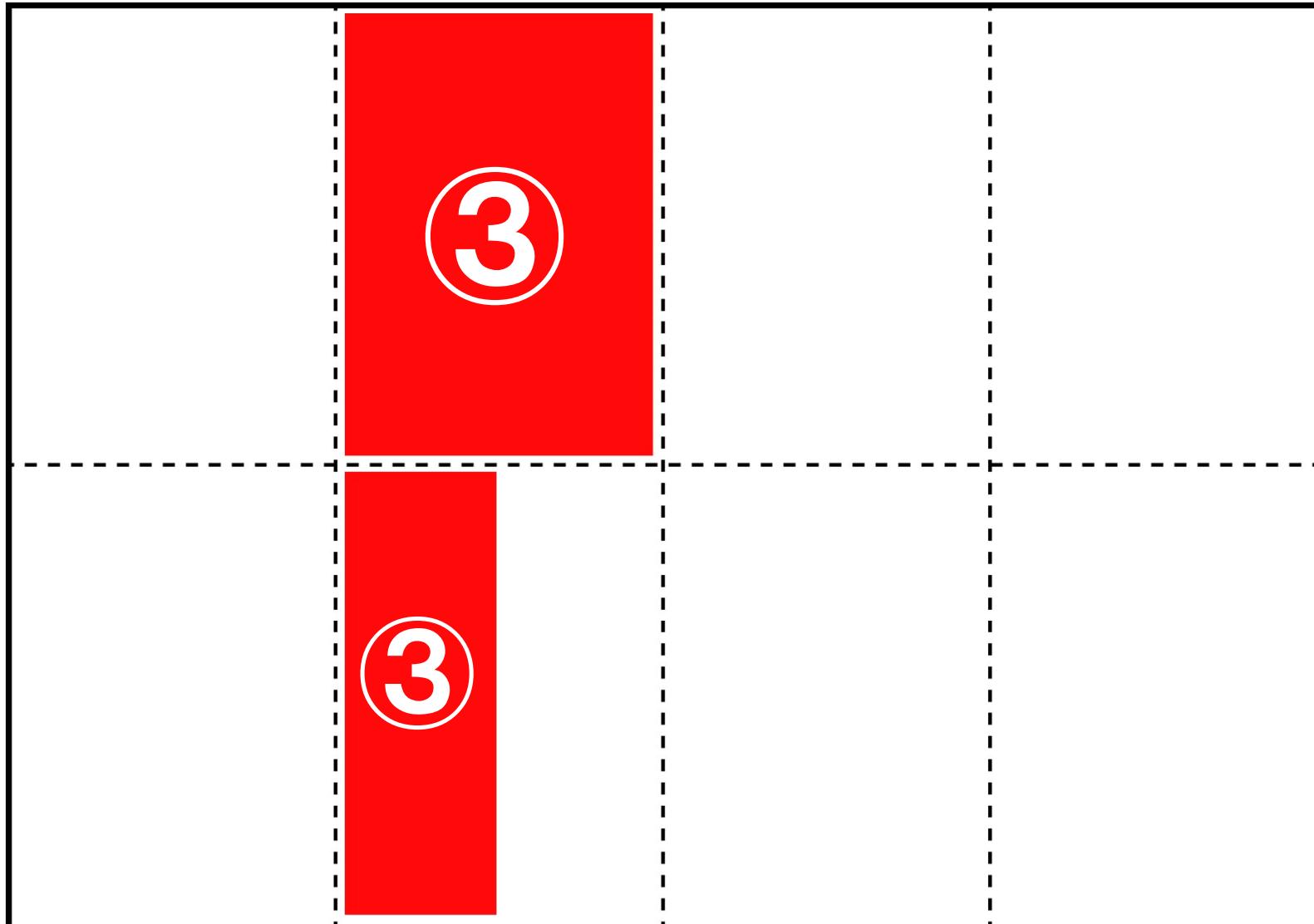


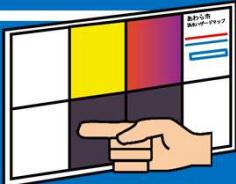
## 「地点別浸水シミュレーション検索システム」(浸水ナビ)の活用



出典 : 国土交通省

## ③ 警戒レベル2



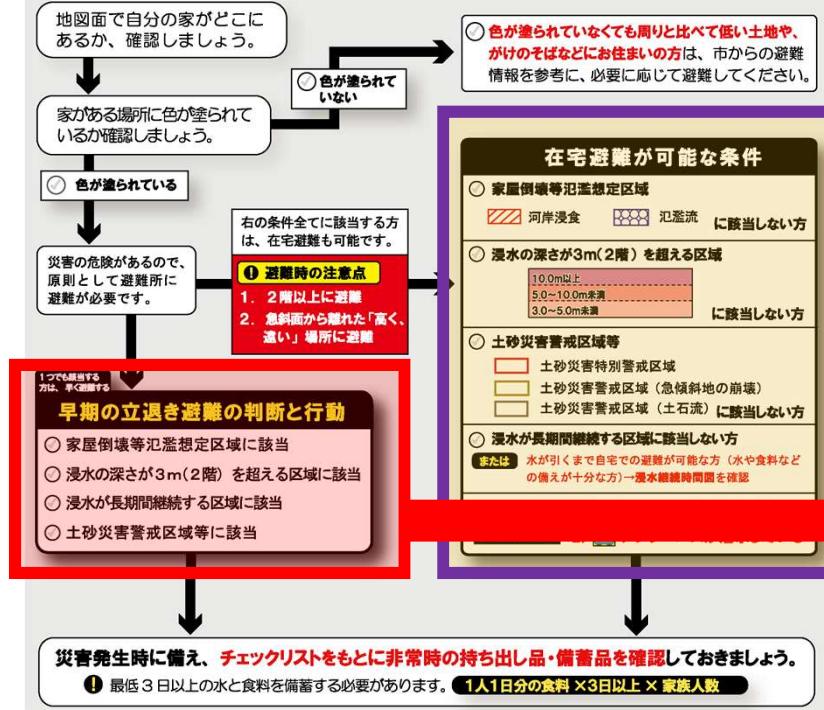


# 警戒レベル2～避難行動の確認～



## 自分の避難行動が「はい」、「いいえ」で分かります。

避難行動を検討した上で災害発生前に活用しましょう。検討したら ✓ をしましょう。



**✓が4つとも該当する方  
在宅避難が可能**

**この場合は  
在宅避難**

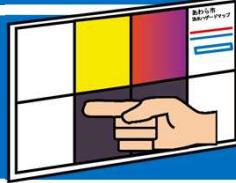
1. 洪水氾濫がすでに発生
2. アンダーパスが冠水

**早期の立退き避難が  
必要な区域**

非常時の持ち出し品チェックリスト									
[筆記用具] 必要な物を記入しましょう									
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 眼鏡等	<input type="checkbox"/> 消毒液	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ハザードマップ	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 体温計	<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<input type="checkbox"/> ポリ袋	<input type="checkbox"/> 育児用品	<input type="checkbox"/> うがい液	<input type="checkbox"/>				

持ち出し品はこれだけではありません。自分に必要なものをあらかじめ決めておきましょう。

**避難の際に持ち出す物の最終確認**  
**の所は必要な物を記入**



# 早期の立退き避難が必要な区域とは？



## 早期の立退き避難が必要な区域

災害発生時、身体や生命に直接影響を及ぼす可能性  
がある区域

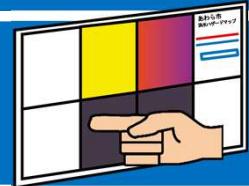


✓が1つでも該当する方は  
警戒レベル3の時に早めの避難が必要

## 早期の立ち退き避難が必要な区域の種類

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域
- ② 浸水で特に警戒が必要な区域
- ③ 土砂災害警戒区域等





# 早期の立退き避難が必要な区域①



**早期の立退き避難が必要な区域**

**家屋倒壊等氾濫想定区域**  
洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

**氾濫流**  
  
堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

**河岸浸食**  
  
激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域

**漫水で特に警戒が必要な区域**  
漫水の深さが3mを超える区域や、漫水継続時間が長期に及ぶ区域

**漫水深が3mを超える区域**  
  
漫水深が3mを超えるおそれがある区域

**漫水継続時間が長期に及ぶ区域**  
  
水がなくなるまで、長期間隠れながら孤立する可能性がある区域

**土砂災害警戒区域等**

**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる特に注意が必要な区域

**土砂災害警戒区域**  
大雨などで、急な斜面や谷間を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

**急傾斜地の崩壊**  
  
前兆現象  
①がけに割れ目ができる。  
②小石がカラカラと落ちる。

**土石流**  
  
前兆現象  
①川が覆い落木が混ざる。  
②山鳴りがする。

**地すべり**  
  
前兆現象  
①地面にひび割れができる。  
②斜面から湧水ができる。

## 家屋倒壊等氾濫想定区域 家屋が流されてしまうおそれがある区域

氾濫流

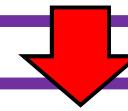


堤防の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域

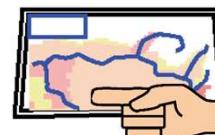
河岸浸食



激流により河岸が削られて、家屋が倒壊するおそれのある区域



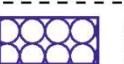
地図(凡例)を確認



家屋倒壊等氾濫想定区域 (詳細は裏面へ)

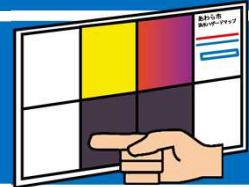


河岸浸食



氾濫流





# 早期の立退き避難が必要な区域②



**早期の立退き避難が必要な区域**

**家屋倒壊等氾濫想定区域**  
洪水発生時に家屋が流失・倒壊することが想定される区域には、「氾濫流」と「河岸浸食」の2種類があります。

**氾濫流** **河岸浸食**

増水の決壊による木造家屋の倒壊が発生するおそれのある区域  
激流により河岸力削られ、家屋が倒壊するおそれのある区域

**浸水で特に警戒が必要な区域**  
浸水の深さが3mを超える区域や、浸水継続時間が長期に及ぶ区域

**浸水深が3mを超える区域**  
浸水深が3m(建物の2階)を超えるおそれがある区域

**浸水継続時間が長期に及ぶ区域**  
水が引くまで、長期閉塞から孤立する可能性がある区域

**土砂災害警戒区域等**

**土砂災害特別警戒区域**  
土砂災害による建物の崩壊などにより、生命または、身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる特に注意が必要な区域

**土砂災害警戒区域**  
大雨などで、急な斜面や谷を流れる河川、または緩やかな台地で土砂災害が発生する区域

**急傾斜地の崩壊** **土石流** **地すべり**

前兆現象  
ガリに割れ目ができる。  
小石がカラカラと落ちる。

前兆現象  
川が覆い流木が混ざる。  
山鳴りがする。

前兆現象  
地面にひび割れができる。  
斜面から湧水ができる。

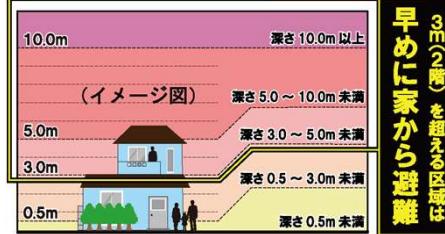
## 浸水で特に警戒が必要な区域 浸水の深さと浸水時間が長期に及ぶ区域

### 浸水深が3mを超える区域

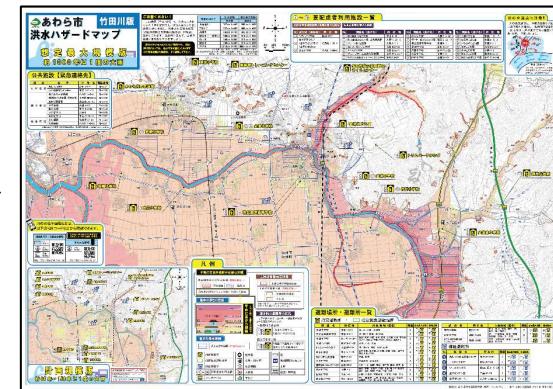
#### 凡例

浸水深が地面から3m(2階)を超える区域

#### 浸水の深さの目安



#### 地図で確認



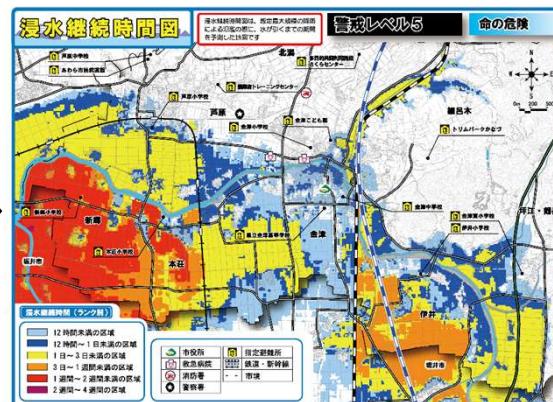
### 浸水継続時間が長期に及ぶ区域

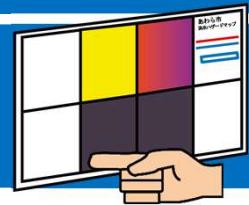
#### 凡例

#### 浸水継続時間 (ランク別)

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間の区域

#### 水が引くまでの期間を地図で確認





# 早期の立退き避難が必要な区域③



## 土砂災害警戒区域等

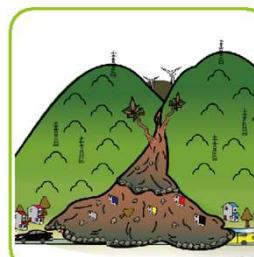
### ・土砂災害特別警戒区域

#### 急傾斜地の崩壊

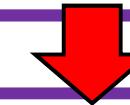
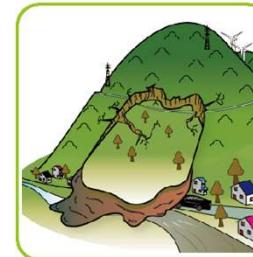


### ・土砂災害警戒区域

#### 土石流



#### 地すべり



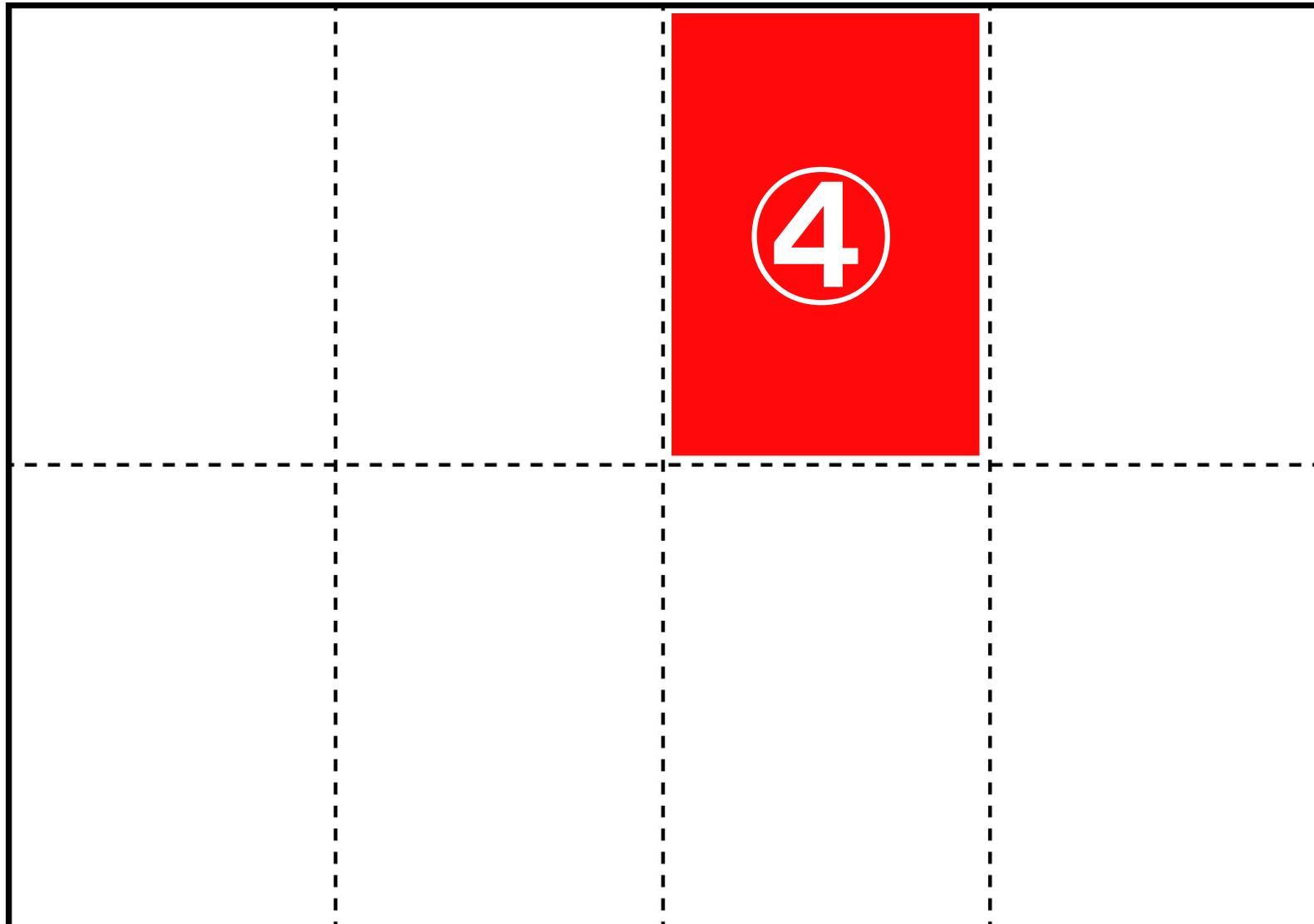
#### 地図(凡例)を確認

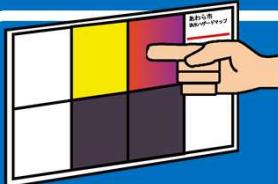
	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域 (詳細は裏面へ)
	急傾斜地の崩壊
	土石流

あわら市では、土砂災害警戒区域のうち、  
地すべりは指定されていません。



## ④ 警戒レベル3~4





# 警戒レベル3～4～避難時の心得～



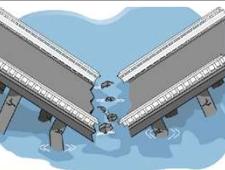
避難時の心得は、3つに分類されます。

## 避難時に注意すべきこと

### 動きやすい服装で避難

#### 一人で避難

#### 多人数で避難



### 動きやすい服装で避難

**昨年からコロナウイルスが流行**

**人が密集する避難所では、対策が必要**

対策の例) マスク、消毒液等



避難施設の注意点：避難所に複数の人が集まるため、感染症対策を万全にしましょう。

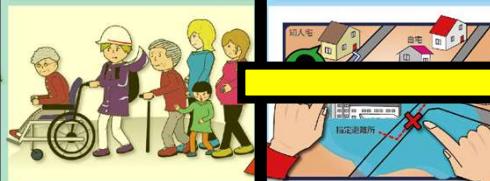
## 共助の心を大切にしましょう

### 近隣に呼びかけを



近隣の方が迅速に避難できるよう呼びかけを行いましょう。

### 要配慮者への避難支援



要配慮者は、迅速に避難するように促す必要があります。

### 親戚・知人宅への避難も検討



親戚や知人宅も避難場所として検討しておきましょう。

### 警戒レベル3発表時、

**要配慮者と支援者は避難が必要**

## 在宅避難の判断と対策

### 判断の決め手



流れが強く茶色く濁っている場合は、足元の危険が分からなくなる、在宅避難をしましょう。

### 水防対策



ビニール袋と段ボールを玄関前に用意して、浸水を防ぎましょう。

### 高い建物への避難



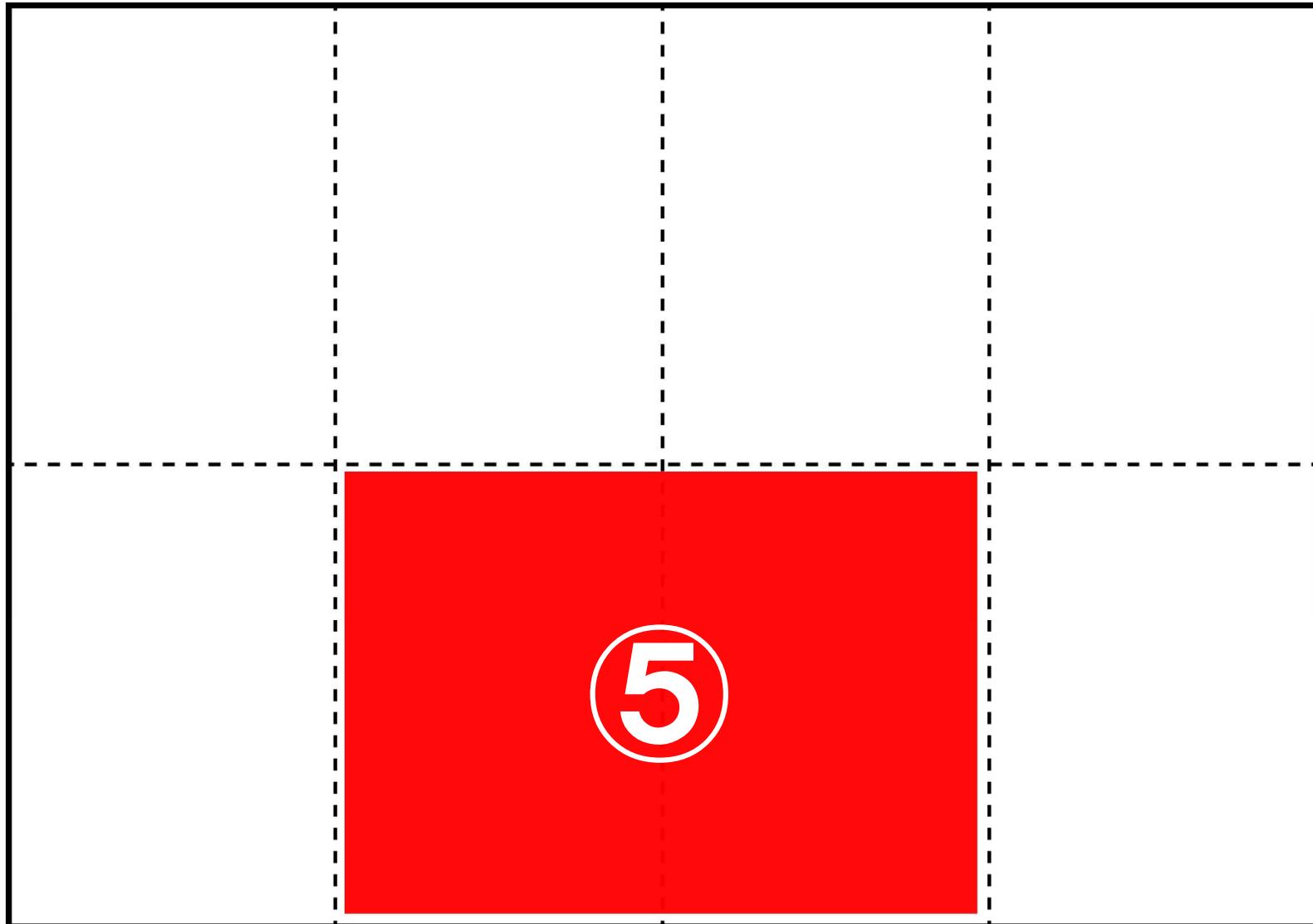
自宅周辺で、頑丈な高い建物がある場合は、高い建物へ避難しましょう。

**洪水氾濫発生時は、在宅避難**

**水囊で水防対策**

**可能であれば高い場所へ避難**

# ⑤ 警戒レベル5



# 地域で異なる災害

## ※特に注意すべき災害（土砂災害）



注意事項

剣岳

注意点について

浸水継続時間図の区域に該当しない方

安全なうちに「早めの避難」

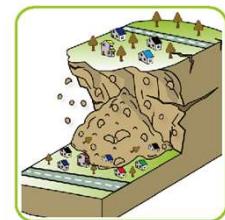


自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。  
大雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を確認し、早めの避難を心がけましょう。

危険

急傾斜地の崩壊

土石流



早めの避難

# 地域で異なる災害

## ※早期の立退き避難が必要な災害（土砂災害）



**注意事項**

**新郷、本荘、金津、伊井、坪江、細呂木、芦原**

浸水継続時間図の区域に該当する方  
早期の立退き避難が必要

長期間浸水する区域には注意をしましょう。  
避難が遅れた場合、右図のような状況が発生する  
おそれがあるため、早めの避難を心掛けましょう。

**地図で凡例を確認**

該当の方は避難

**浸水継続時間図**

警戒レベル5 命の危険

浸水継続時間図は、想定最大規模の降雨による氾濫の際に、水が引くまでの期間を予測した地図です

浸水継続時間（ランク別）

- 12時間未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1週間～2週間未満の区域
- 2週間～4週間の区域

注意点について 脊岳の方  
浸水継続時間図の区域に該当しない方  
安全なうちに「早めの避難」

自宅裏の危険な斜面に注意しましょう。  
大雨が降り続く場合は、自宅裏の斜面を確認し、早めの避難を心掛けましょう。

逃げ遅れに伴い長期間の在宅避難を行う際の問題点

新郷、本荘、金津、伊井、坪江、細呂木、芦原の方  
浸水継続時間図の区域に該当する方  
早期の立退き避難が必要

電気がつかない 衛生環境が悪化 食料が尽きた 常備薬が尽きた 救急車が来ない

42

# 地域で異なる災害

※早期の立退き避難が必要な災害（浸水継続時間）



## 長期の在宅避難を行う際の問題点

新郷、本荘、金津、伊井  
坪江、韮呂木、芦原の方

浸水継続時間図の区域に該当する方

早期の立退き避難が必要

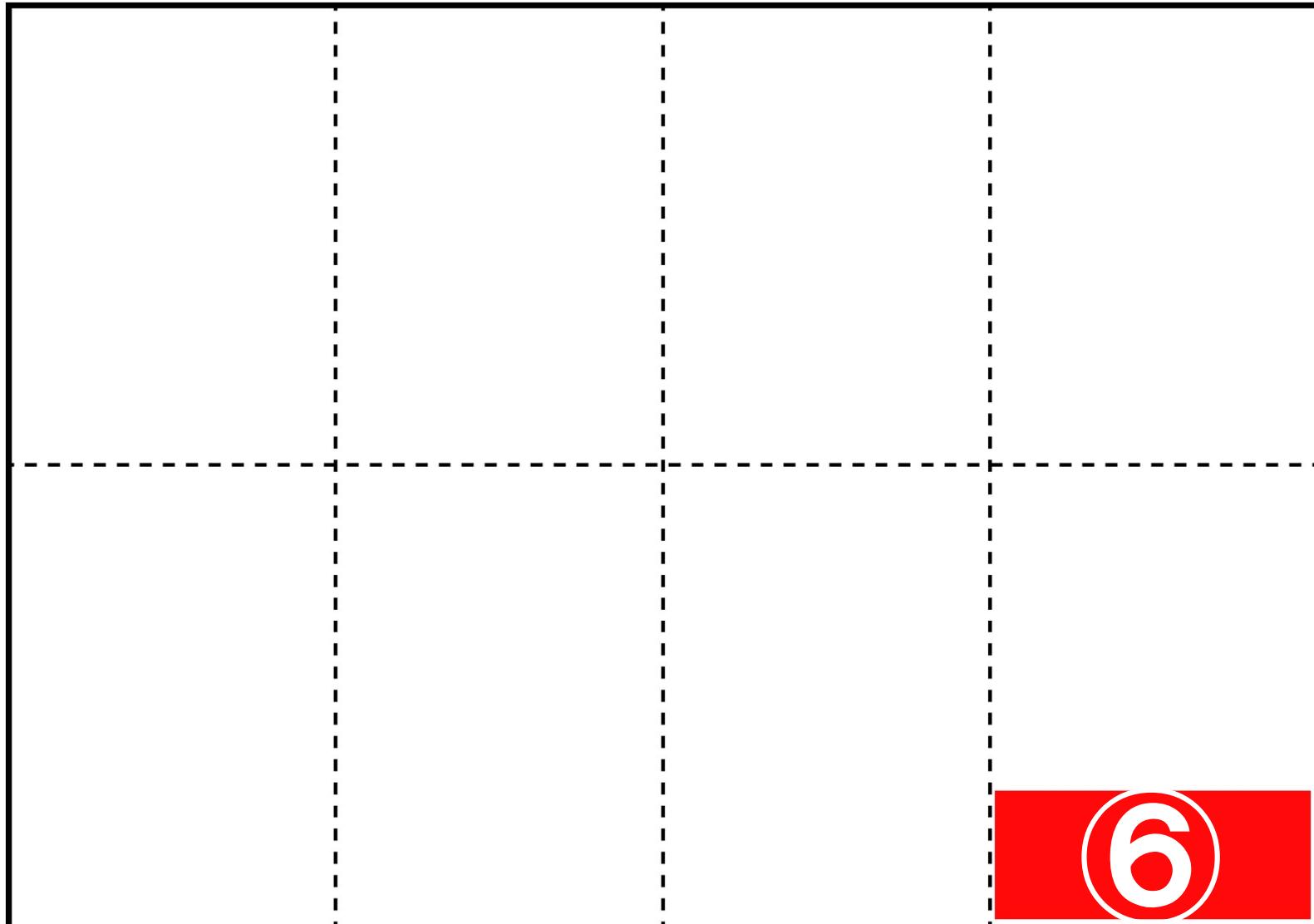


長期間浸水する区域には注意をしましょう。  
避難が遅れた場合、右図のような状況が発生する  
おそれがあるため、早めの避難を心がけましょう。

## 逃げ遅れに伴い長期間の在宅避難を行う際の問題点



## ⑥ 警戒レベル5～最低限必要となる備蓄品～



# 地域で異なる災害

※早期の立退き避難が必要な災害（浸水継続時間）



## 最低限必要となる備蓄品(7日間避難する場合の例)

### 長期間の在宅避難を行う際の問題点

自宅の周囲が浸水し長期間の在宅避難が必要となった場合、以下の問題が発生します。

#### ！ 浸水が長期にわたる場合

- ① 備蓄した水や食料が尽きます。
- ② 衛生環境が悪化します。



#### ！ ライフラインの停止による問題

- ③ 停電により情報収集ができません。



#### ！ 孤立した場合

- ④ 体調を崩した場合、対応ができません。



### 最低限必要となる備蓄品

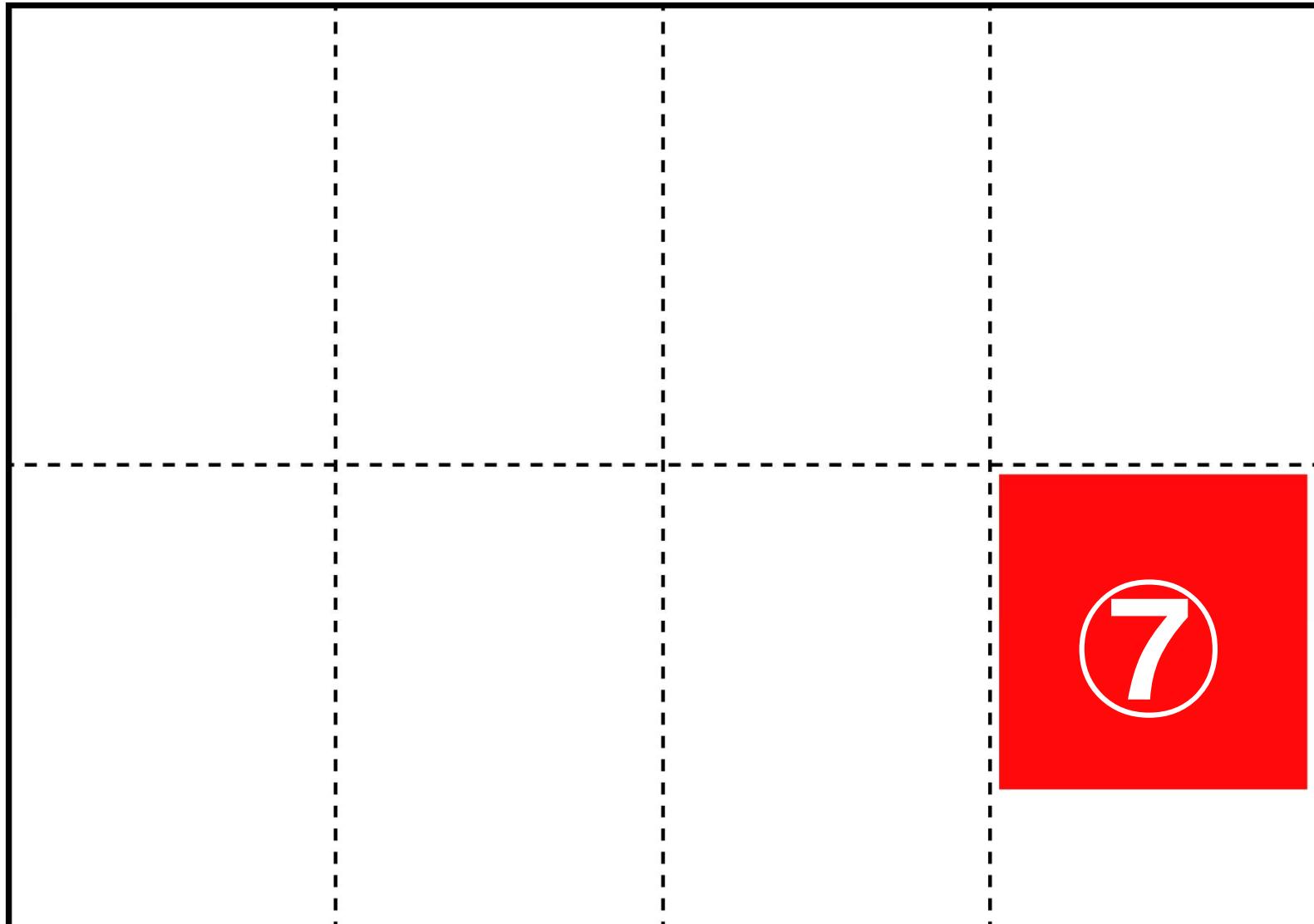
- 7日分以上の水や食料  
1人1日分の食料 × 7日以上 × 家族人数
- 簡易トイレ（ビニール袋等）
- モバイルバッテリー
- ボンベ型のガスコンロ
- LEDライト（ランタン）
- 医薬品（処方薬等）



水が引くまで自宅での避難が可能な方も

**警戒レベル2の時点で備蓄品を確認**

## ⑦ マイ・タイムライン



# マイ・タイムラインとは？



マイ・タイムライン（別名：防災行動計画）

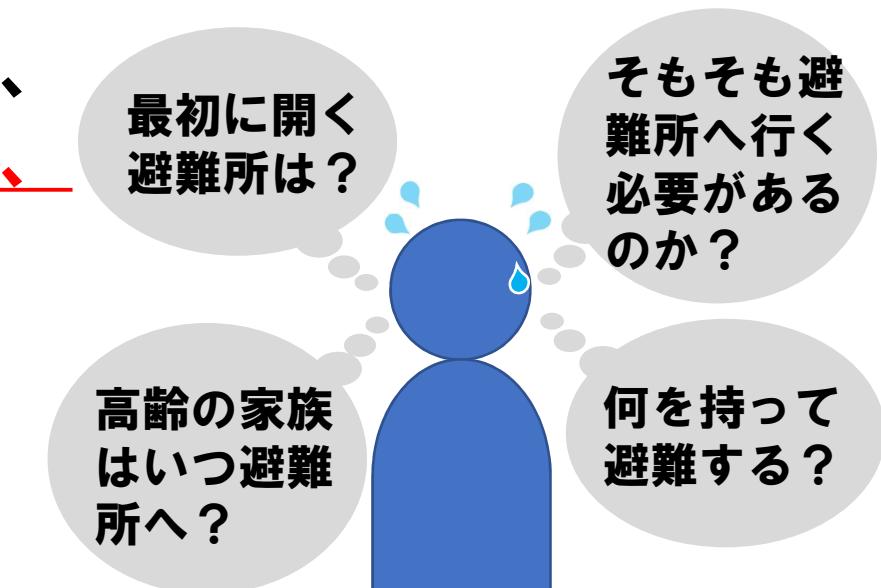
災害の発生が予想された際にあなたが「いつ」「何を」するかを、あらかじめ時系列で整理したもの

避難行動は住民一人ひとり違うため、家族構成や生活環境に合わせて整理することが大切

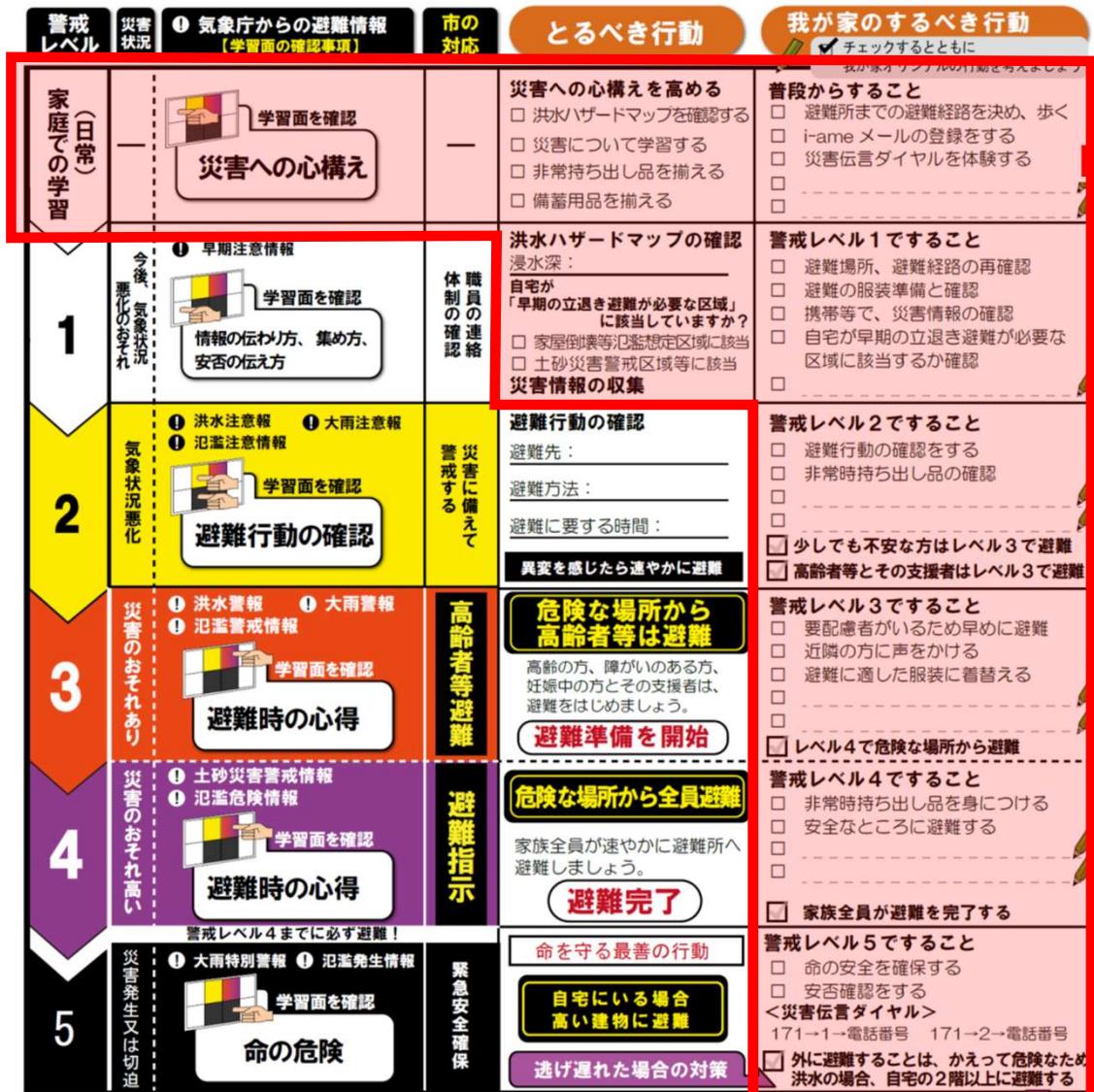
災害時は急な判断が迫られ、  
そこでの判断を誤ることで、生死が分かれることもあり  
ます。



平常時に防災行動を決めておくことが重要



# マイ・タイムラインの作り方



まず、自宅やその周辺の**災害リスクを知り、逃げ方を頭の中でシミュレーションする。**

- ・自宅が浸水する
- ・避難所まで遠い
- ・避難経路に危険が多い

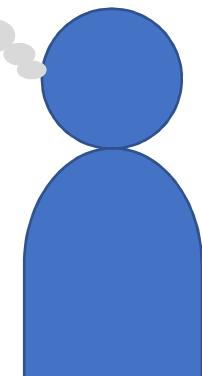
例えは…

など…

**自宅が2階以上まで  
浸水する→避難所への避難が必要**

**避難する途中に土砂  
災害の危険  
→迂回路が必要**

**高齢家族が在宅  
→避難時間を要確認**





# 調べた結果や考えを書き込む

警戒レベル		災害状況		① 気象庁からの避難情報 【学習面の確認事項】	市の対応	とるべき行動	我が家にするべき行動
家庭での学習		（日常）		学習面を確認 <b>災害への心構え</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>災害への心構えを高める           <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 洪水ハザードマップを確認する</li> <li><input type="checkbox"/> 災害について学習する</li> <li><input type="checkbox"/> 非常持ち出し品を揃える</li> <li><input type="checkbox"/> 備蓄用品を揃える</li> </ul> </li> </ul>	
1 今後悪化のおそれ		気象状況悪化		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 早期注意情報</li> <li>学習面を確認</li> <li>情報の伝え方、集め方、安否の伝え方</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水ハザードマップの確認</li> <li>浸水深：_____</li> <li>自宅が「早期の立退きが必要な区域」に該当していますか？</li> <li><input type="checkbox"/> 家屋倒壊等立退き想定区域に該当</li> <li><input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域等に該当</li> <li><input type="checkbox"/> 災害情報の収集</li> </ul>	
2 気象状況悪化		災害のおそれあり		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 洪水注意報 ① 大雨注意報</li> <li>① 沼澤注意情報</li> <li>学習面を確認</li> <li><b>避難行動の確認</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>警戒する備えで</li> <li>避難行動の確認</li> <li>避難先：_____</li> <li>避難方法：_____</li> <li>避難に要する時間：_____</li> <li>異変を感じたら速やかに避難</li> </ul>	
3 災害のおそれあり		災害のおそれあり		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 洪水警報 ① 大雨警報</li> <li>① 沼澤警戒情報</li> <li>学習面を確認</li> <li><b>避難時の心得</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者等避難</li> <li><b>危険な場所から高齢者等は避難</b></li> <li>高齢の方、障がいのある方、妊娠中の方とその支援者は、避難をはじめましょう。</li> <li><b>避難準備を開始</b></li> </ul>	
4 災害のおそれ高い		災害のおそれ高い		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 土砂災害警戒情報</li> <li>① 沼澤危険情報</li> <li>学習面を確認</li> <li><b>避難時の心得</b></li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>避難指示</li> <li><b>危険な場所から全員避難</b></li> <li>家族全員が速やかに避難所へ避難しましょう。</li> <li><b>避難完了</b></li> </ul>	
5 災害発生又は切迫				<ul style="list-style-type: none"> <li>命の危険</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急安全確保</li> <li><b>命を守る最善の行動</b></li> <li><b>自宅にいる場合 高い建物に避難</b></li> <li><b>逃げ遅れた場合の対策</b></li> </ul>	

避難所まで歩いてみるなど  
避難行動を実践する

調べたり考えた結果を  
書き込む。

警戒レベルに合わせて  
自分に適した避難行動  
を考え、書き込む

**警戒レベル3または  
警戒レベル4で**

**自分も含め身の周りの  
人が避難できるよう計  
画を立てる**